

# 山古志村仮設住宅団地ものがたり ボラセンブログ 3年間の記録



ボラセン関係者一同

## 前書き：丸ごと反対側の岡の上に引っ越した山古志村

---

一つの自治体が丸ごと一箇所引っ越すというのはおそらく現代日本においては初めてのことであったものと思います。（伊豆大島も全島避難されましたが長岡市のように広大な住宅予定地があるわけでもなく都内に分散されました。それが普通だと思います。）

これはその丸ごと一箇所引っ越し先の大きな仮設住宅団地のボランティアセンターの記録です。

2004年10月の中越地震で壊滅的な被害を受けた山古志村は長島村長の決断で全村避難となり、自衛隊の決死の救出作戦で長岡市と小千谷市の避難所に収容されました。そして合併予定の長岡市（森市長・市議会・市民の皆さまの決断と理解）に山古志村の避難所は集約されました。しばらくして山古志村と越後平野・信濃川を挟んで反対側の丘陵の上の長岡ニュータウンの一角に巨大な仮設住宅団地が完成し、山古志の避難者はそこに移りました。

※ この際の仮設住宅への順庵な対応

1、仮設住宅とは災害で住宅を失った方に行政から提供されるプレハブタイプが主の小型住宅のことであり、2年以内の利用期間が定められています。

詳しくはwikipedia

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BB%AE%E8%A8%AD%E4%BD%8F%E5%AE%85>

中越地震では復旧工事が雪の期間に中断されることも考慮されて2年ではなく3年以内に緩和された。中越大震災においてはかなり柔軟に対応していたのでした。

## 災害ボランティアセンターとは

---

災害ボランティアセンターとは

Wikipediaによりますと

( <http://ja.wikipedia.org/> )

「主に災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するための組織」とされ  
1997年1月のロシア船籍タンカー「ナホトカ号」の重油流出災害で30万人弱が災害ボランティアとして参加した際、多人数・初心者のボランティアが効率よく作業するためには、これを調整する組織が必要とされ、阪神・淡路大震災での経験がある団体が、地元の青年会議所などに働きかけて組織したのが我が国における本格的な災害ボランティアセンターであるとされている。

山古志の災害ボラセンはどのように役に立ったのか？

山古志の災害ボラセンは仮設住宅団地がその活動のほとんどを占めましたが、道路が復旧し避難指示等が解除された集落では家の中の整理や冬には屋根の雪下ろし等もできるようになり、ボラセン活動は実際の山古志地内でも行われました。

全村避難した方々の大部分が一箇所に住むと言うのは火山活動で避難した伊豆大島も阪神淡路大震災でも有りませんでした。

ボランティアセンターの方々は初めての事態に立ち向かったのです。

もちろん参加された多くの方は仮設住宅を対象にしたボランティア自体が既に初めての体験だったと思いますが。

ここで取り上げる災害ボランティアセンターの長いブログ記録はおそらく日本で初めてのもの  
有る可能性が高いです。（阪神淡路ではまだブログが一般化されていなかった）ブログの書き方  
も表現の仕方も解らない状態で使命感に燃えた状態でのスタートです。

この記録を読んだあなたが最も冷静に何があったのかを数年の時を経て目撃する判断できる人  
なのかもしれません。

この記録集について・・・記録、始めます。

---

ただひたすらその時に書かれたものを掲載してゆきます。  
きっと「作らない・編集しない」ほうが、伝わると思うからです。

では、始めます。

## 2016年6月追記

被災地でこれから仮設住宅団地のボランティアセンターで活動される皆さまへ

この記録に何らかのヒントがあるかもしれません。  
書いてない事、書けない事もありました。

仮設団地で発生する諸問題、山古志に電話いただければお答えできることもあるかと思います。

実は、現在長岡市山古志地域で活動している「地域復興支援センター山古志サテライト」には山古志仮設住宅団地で活躍した人が活動しています。  
なんと、十年以上にわたって仮設住宅団地支援から山古志に戻って集落復興支援をやってこられているのです。

気さくな方々です。「何でも相談OK、お話だけでもOK」とのこと。

### 連絡先

(公財) 山の暮らし再生機構 地域復興センター山古志サテライト  
[http://www.yamanokurashi.jp/limo2/shien/yamakoshi/?page\\_id=4325](http://www.yamanokurashi.jp/limo2/shien/yamakoshi/?page_id=4325)  
電話 0258-59-2301 (9:00~17:00)

(前書きからここまで 担当 ながおか生活情報交流ねっと 桑原真二)

## ブログ開設のお知らせ

2005/01/30 Sun 22:36 | posted by yamav

山古志村役場ホームページの復旧と山古志村災害ボランティアセンターの移転に伴い、新たに山古志村災害ボランティアセンターのブログを作成しました。

ながおか生活情報交流ねっと様と国際ボランティア学生協会様からの協力により作成しました。

## ボランティアセンター移転のお知らせ

2005/01/30 Sun 23:17 | posted by yamav

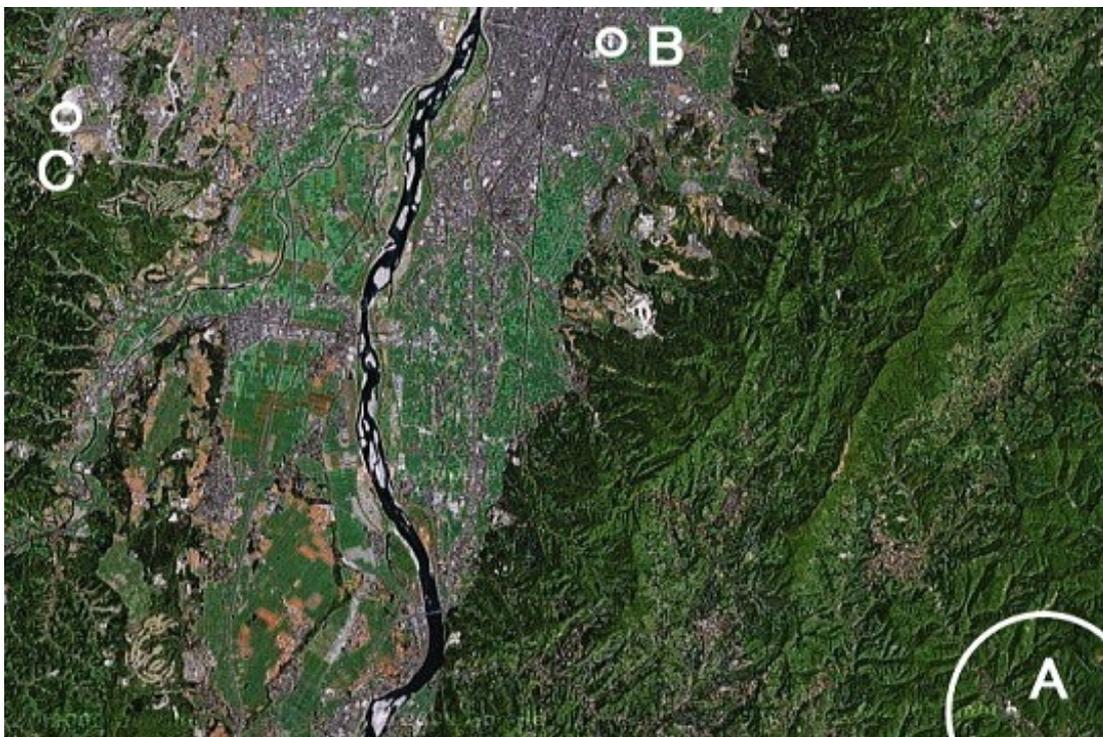
山古志村災害ボランティアセンターが下記のとおり移転しました。

- ・ 場所 長岡市陽光台4-1758-18 山古志村応急仮設住宅 B 3 9 0 4
- ・ 電話 0 2 5 8 - 4 6 - 8 8 5 9 ( 9 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 )

コメント：

10月26日の地震から2日間は山古志で過ごし、その後全村避難によりヘリコプターで生まれ育った村から脱出。長岡市の避難所で2ヶ月強、そして雪の前に長岡市西部の丘陵地帯にある陽光台へと移り住みました。陽光台は長岡ニュータウン内に有り国営越後丘陵公園に隣接した場所でした。

(桑原)



A : 山古志 B : 大手高校 C : 陽光台

## 長期ボランティアスタッフ募集

---

### 長期ボランティアスタッフ募集

2005/01/31 Mon 13:30 | posted by yamav

山古志村災害ボランティアセンターでは、長岡市内もしくは近郊にお住まいの方で継続して活動できるボランティアを募集しています。参加を希望される方は、必ず事前にお電話ください。

#### 主な活動は

- ・ 個別のお宅への訪問（見守りやお年寄りの話し相手など）
- ・ 仮設住宅集会所での「お茶のみ会」の運営
- ・ 各種イベントの取りまとめ、運営

#### コメント：

こうやってボランティアスタッフを募集し始めたのです。

活動内容はかなり特殊なもので、話し相手、お茶飲み会、イベント運営等です。

これは夢中だった当事は手探りだったことでしょうか今振り返ると特殊技能ではないかと思えます。（桑原）

## お茶飲み会、火祭り用のかやを募集！

---

### お茶飲み会

2005/02/09 Wed 15:24 | posted by yamav

今日は、陽光台仮設住宅の集会所で「お茶飲み会」を開きました。午前中は日差しが暖かかったこともあり、50人程の住民の方にお越しいただきました。

「お茶飲み会」は、今後も継続していく予定です。

### 火祭り用のかやを募集！

2005/02/09 Wed 15:41 | posted by yamav

山古志村の火祭りを長岡市のゆきしか祭りの時に、今までのお礼ということで行うそうです。

毎年盛大に行われているものですが（下記参考）

<http://www.soiga.com/tmp/kyoyu/kuwahara/yamakoshi-himaturi/hi-2003.html>

今年はカヤを刈る時期に地震に遭いカヤが無くて苦戦しているそうです。そこで下記の募集をしています。

- 1、カヤもしくは藁を持っている方に寄付をお願いしたい。
- 2、雪が少なく刈れそうな場所があったら教えて欲しい。

とのことです。

### 連絡先は

長岡市幸町1-2-31 長岡市役所幸町分室内

山古志村新潟中越地震災害対策本部

電話 0258-38-2660 0258-30-1035

担当 五十嵐豊

です。よろしくお願い申し上げます。

コメント：「最初のお茶飲み会！」 と 「火祭り用のかやの募集」を呼びかけています。

古志の火祭りは毎年3月に行われる豪快な火祭りです。人気の無い山頂の池の近くでやっていますがここ長岡ではそんな大掛かりなものは出来ません。

でも少しでも似た雰囲気を出そうとカヤを探しまくったようです。（桑原）

## 「神戸10年の経験から」 座談会のお知らせ

---

「神戸10年の経験から」 座談会のお知らせ

2005/02/11 Fri 21:36 | posted by yamav

連続座談会「復興寺小屋」のお知らせです。

テーマ

「神戸10年の経験から」

復興のために「被災者とボランティア」が何をしたか。中越では何ができるか。

塾長

村井雅清さん（被災地NGO協働センター代表）

日時

2月14日（月） 19：00～21：00

場所

山古志村仮設住宅集会所

お問い合わせ

山古志村災害ボランティアセンター 090-9386-9810

〔神戸〕では、10年間ずっと被災者と一緒になってボランティアが活動しています。神戸で生まれ育ち、被災し、ボランティアをやってきた村井さんが「よそ者のボランティア」の力、「被災者自身のボランティア」の力、両者が一緒に作った数百の実践と成果を語ります。

中越地震の生活復興の場面で、どのようにボランティアを信頼して活かすのか、「被災者自身のボランティア力」も問われています。

コメント：同じく震度7を記録した地震「阪神淡路大震災」の経験者がその智恵を授けに来られる案内。中越も長い復興の過程が始まったところですのでその後の被災者とボランティアの皆さんの指針の一つになったのではないのでしょうか。（桑原）

## 畑セレモニー

---

### 畑セレモニー

2005/05/09 Mon 16:31 | posted by yamav

森市長をはじめ、長島復興管理官、関係者の皆さんにお集まり頂いて、「生きがい健康農園」の  
鍬入れ式が行われました。



記念にサルビアの苗を植えた後、住民の皆さんは待ちかねたように自分の畑に向かいました。鍬  
を下ろすその顔は皆さんにこやかでした。



コメント：体はもちろん心の健康にも欠かせないのが畑仕事です。体の健康はやはり労働や運動  
によってもたらされ、野菜等を育てる過程は心に良き影響を与えてくれるようです。ホント一石  
二鳥ですね。収穫を入れれば一石三鳥かも。山の人達はそのことを体で熟知しているようです。  
(桑原)

生きがい健康農園

2005/05/20 Fri 14:34 | posted by yamav

本日はとても良い天気で仮設住宅付近のウツギの花は満開です。



陽光台仮設住宅脇の「生きがい健康農園」は日に日に畑らしくなってきました。



じゃが芋や茄子、トマトにカボチャ・・・畑仕事をみなさん楽しんでいるようでした。ボランティアセンターも少々ですが畑を耕しています。収穫が楽しみです。

## 三条よりクワやハサミが

---

三条よりクワやハサミが

2005/05/21 Sat 16:00 | posted by yamav



金物の街、三条より農耕用のクワやハサミなどが届きました。

昨年の7.13水害では大変な被害を受け、色々な人に助けて頂いたそうですが、新聞で畑作業の記事を見て農耕具を届けたいと思われたそうです。

コメント：三条市は直ぐ近くの市で金物の街、頂いた恩を繋いでゆく、山古志の方々にしっかり繋がりました。（桑原）

## ボラセンの畑

---

ボラセンの畑

2005/06/01 Wed 18:58 | posted by yamav

連日暑い日が続いています。

ボランティアセンターでも少しですが畑を耕しています。

今日はナスとピーマンの苗を追加して植えました。

約10日前に植えたジャガイモがなかなか芽を出さないのが心配してましたが小さな芽が土から出ていて皆で大喜びでした。

住民の方々、元々の畑とは勝手に違うけど、どんな出来になるかを楽しみにしながらやっているそうです。

私たちも楽しみながらやっています。

しかし住民の方々は当然のことながら朝は涼しい早いうちから、午後は夕方の少し気温が下がってからが畑仕事。

ボラセンはいつも昼間の一番暑いときに畑に出ています...



## ボラセンの畑

---

ボラセンの畑

2005/07/19 Tue 19:06 | posted by yamav



今日は涼しい風が吹き過ぎしやすい日でした。画像はボランティアセンターの畑に植えたトウモロコシ。きっと立派なトウモロコシが出来るでしょう。楽しみです！



五月下旬に植えたピーマンは鈴生り状態に実を付けてます。ナスも少ないですが良い具合に採れてます。ジャガイモ・・・収穫は無理そうです。

## ボラセンの畑2

### ボラセンの畑2

実のならない“むだ花”ばかりだったカボチャにも実を持った花が付きました！



ボランティアセンター収穫の野菜

その内にスタッフのお昼ごはんとしてテーブルに出ることでしょう。（誰が料理するんだという問題はありますが・・・）

採れたての野菜で夏バテ防止です！

今、ボランティア活動に参加してくださった方にはもれなく野菜のお土産があるかもしれません。

□□□□□ちょっと一言□□□□□□□□□□

昨日今日と風が強く、背の高くなったヒマワリが心配だったので交番前の通りのヒマワリを見に行きました。残念なことに一番大きく伸びたヒマワリが根元から折れてました。

倒れかけたりしているものもあったので添え木をくくりなおしたりしていたら、近くの仮設住宅からオジサンが出てきて手伝ってくれました。背の高いヒマワリを支えられるだけの竹の添え木まで持ってきてくれたり、手際良く紐を結びなおしてくれたりしました。

「気になってたんだけど、手を出しちゃいけないかと思ってね」

結構そういう方がいらっしゃいますが、一声お願いすると、みなさん快く手伝ってくださいます。

全てにおける訳ではありませんが、ボランティアは“する”、“やってあげる”と言うことでは無いと思います。

“一緒にする”のが一番良い形なのではないかと。

そしてたまには“されて”というのも良いのでは。

そこには良い関係、信頼関係があるのではないかと感じます。

## 畑って

---

仕事ができる  
家族の役に立てる  
地域の役に立てる  
畑があれば  
だから生きてゆける

そりゃ町場で生きにくいのはしょうがない、だって畑が無いもん。

ということのようです。

## 三味線・大正琴

---

### 三味線・大正琴

2005/05/08 Sun 18:26 | posted by yamav



湯沢町から「三味線・大正琴の会」の方が来てくださり、童謡や歌謡曲、民謡を集まった皆さんと一緒に歌いました。

始まる頃の雨が落ちそうな天気は薄日差す気持ちよい天気。

お集まりになった皆さんも清々しい顔で集会所を後にしました。



## 獅子舞と足手素人

### 獅子舞と足手素人

2005/06/12 Sun 17:47 | posted by yamav



神戸の中華街、南京町より中国獅子舞の披露と豚まんが配られました。

また長野県より「風プロジェクト」よるキーボードに演奏が行われました。



演奏してくださった「足手素人（あーていすと）」風子さんは脳性マヒ障害で両手が不自由ですが足でキーボードを演奏し、また素敵な絵や詩をもつくります。

風子さんの絵や詩、そして演奏する姿には何か勇気付けられるものがあったのではないのでしょうか。

## 函館と八王子から（イベント）

---

### 函館と八王子から（イベント）

2005/06/18 Sat 19:19 | posted by yamav



北海道函館市からアフリカンパーカッショングループ「福来（FuKuKuRu）」がアフリカの伝統音楽などの演奏を行っていただきました。

「笑う門には福来る！」をテーマに活動。  
愉快で楽しい演奏でした。

20日月曜には長岡市の悠久山仮設住宅でも演奏していただきます。



また東京都八王子市からは「あゝ わが山古志よ」を作られたお二人が再び訪れてくださりました。  
。

## 「長岡まつり」大花火大会のご招待

---

「長岡まつり」大花火大会のご招待

2005/06/24 Fri 16:40 | posted by yamav

長岡市における

中越大震災ボランティア参加者 各位

長岡市災害ボランティアセンターと長岡まつり協議会との協同で、数多くの関係者御協力の下、中越大震災におけるボランティア参加者の中から500名様を、平成17年8月2～3日の長岡まつり大花火大会に感謝の意を込めましてご招待いたします。

平成17年6月末日までに山古志災害ボランティアセンターを通してボランティア活動に参加された方もご応募いただけます。

詳しくは

長岡市災害ボランティアセンター

お知らせ内容

<http://soiga.com/adj/log/eid157.html>

コメント：長岡まつり大花火大会とは毎年8月2日3日の二晩に信濃川河川敷で行われる花火大会。三尺玉やナイアガラが有名であるがこの花火大会から震災復興祈願花火「フェニックス」という超大型のワイドスターメインが打ち上げられ多くの感動の涙を誘った。

## 凧作りと凧揚げ

---

### 凧作りと凧揚げ

2005/06/25 Sat 18:56 | posted by yamav

新潟は旧白根市の方々が大凧を揚げに来てくださいました。

また集まった子供たちには高学年には和凧を低学年の子には簡単な洋凧を作って一緒に揚げました。

作った凧には好きな絵や文字を入れて自分だけのオリジナル凧の出来上がりです。

初めて凧揚げをする子供もいて、青空を風に乗って揚がる凧の様子を、引っ張られる糸の感触を楽しんでいるようでした。



揚がった連凧の糸の引っ張られ具合には、みんな感嘆の声を上げて楽しんでました。

大凧は風が止んでしまい揚げる事が出来なかったのが残念！

みんな汗をかきながらも頑張っていました。

コメント：新潟平野では白根市、三条市

## 「豪雨」と「雨の影響」

---

豪雨。

2005/06/28 Tue 20:34 | posted by yamav

27日から降り続く雨。

新潟の下越地区では昼には峠を越したようですが避難勧告の出されたところもあるようです。

梅雨前線はゆっくり南下して震災のあった中越地区を直撃です。

三条では早々と非難準備情報が出され非難時に遅れそうなお年寄りなどが避難所に非難したようです。

柏崎市も避難勧告が出され社協はボランティアセンターを設置しました。

<http://www1.jp-net.ne.jp/0016/1015/kasiwa.html>

長岡市でも災害対策本部が設置されました。

<http://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp/bousai2.html>

長岡市の蓬平地区に通じる県道は土砂崩れで通行出来なくなり30世帯が孤立とのこと。

魚沼市でも竜光地区などで避難勧告。

山古志地域へのゲート4カ所も通行止めとなりました。

増水した川、震災で崩れたままの斜面・・・危険な状態です。

雨の影響

2005/06/29 Wed 18:05 | posted by yamav

小雨の朝でしたが午後からは曇りとなり、とても蒸し暑い気候でした。

今日はお茶会の準備や、集会所への物資搬入などを行っていました。

一昨日よりの豪雨で山古志に入るゲートは通行出来なくなっていましたので、日中は人も少ない仮設住宅でもいつもより人が多いようでした。

集会所で管理人さんと話をしていたら区長さんが急いだ様子で入ってきました。

午後になって小千谷から虫亀地区にはいるゲートの通行止めが解除されたそうです。

その連絡が各世帯に入ると山に入るために慌しくなりました。

鯉の生け簀が気になる方が多いようです。

また長岡から虫亀地区に入る濁沢地区の土砂崩れによる県道通行止めはいつ解除になるか分かりません。

やはり梅雨が明けるまでは旧山古志内での活動は難しいです。



## 埼玉から歌のボランティア

---

埼玉から歌のボランティア

2005/06/27 Mon 17:05 | posted by yamav



埼玉からアマチュアシンガーの方々が歌で応援に来てくださいました。

懐かしい日本の歌やみなさんの知っている童謡、リクエスト、集まったみなさんで歌って笑って、楽しい時間でした。

ギターにハーモニカ、アフリカの民族楽器などを使用しての歌と演奏、  
と思いきや、



突然の踊りの披露。

これがみなさんお腹を抱えての大爆笑。アンコールの声援まで掛かる始末でした。

最後には「上を向いて歩こう」の大合唱で終了しました。

## 茨城から蕎麦打ち

### 茨城から蕎麦打ち

2005/07/09 Sat 15:33 | posted by yamav

茨城県から来てくださったボランティアのみなさんが蕎麦を打ち、みなさんに振舞ってくださいました。

集まってくださった住民の方々も交じり蕎麦を打ちました。

ボランティアスタッフも挑戦してみましたが、均一の細さに揃えるのには主婦暦XX年でも難しいようです。



いつの間にかテントの周りは人だかりになってました。

さすがは茨城？蕎麦に納豆です。

しかしこれがなかなか美味しいと好評でした。

蕎麦の歯ごたえと冷たい喉越しをも楽しんでいただけたようです。

福井県あわら市よりスイカ

2005/07/23 Sat 18:32 | posted by yamav

先日は小雨がたまに降り蒸した梅雨らしい暑さでしたが、今日のはかりりとして青空の広がる日でした。

新潟県内でも梅雨明け宣言されました。

この夏らしい天気の中、福井県あわら市のみなさんがスイカを持ってきて下さいました。

スイカ二百九十個とミディトマト「越のルビー」約二千個。

そして中学生以下の子どもたちにプレゼントする菓子セット百六十二セットを持ってきて下さいました。

また小さなお子さんにはその場で風船で作ったトンボや犬をプレゼントしてくれたり。



夏休みに入った子供たちは外で元気よく遊び、喉が渴いたらまたスイカを食べに来たり、一人で十切れ以上も食べていた子も・・・

それだけ美味しいスイカでした。

みんな気持ちよい空の下、甘く美味しいスイカを堪能されたようです。

暑期中、一日中、外で活動して下さいましたあわら市のみなさん、本当に有難うございました。

スイカ隊員 | 2005/07/31 13:40

スイカ隊員の一人としてそちらに伺い、皆さんから元気とみんなでやり遂げることのすばらしさをあらためて感じる事ができました。

今後まだまだ大変ですが、がんばってください。



今日はお茶会にいつも来てくださっている長岡市内のボランティアの方々が夏物衣類を集めて持って来てくださいました。

ただ物資を届けるだけでなく、集まった衣類を仕分けして来てくださった上に、集まった住民の方々とお話をしながらサイズや柄を一緒に見ながらお渡ししてました。

蒸し暑い日が続いていたので、皆さん喜んで持って行かれました。

お茶会のある今日、明日、そして月曜と行ってくれます。

余った衣類は責任を持って持ち帰るそうです。

ボランティアは自己完結と良く言われます。

活動するにあたって、必要なものは自分たちで用意。

食事、宿泊も自分たちで用意。

そして現地にゴミも残さず。

気持ち良く活動して気持ち良く帰る。

そして、ボランティア活動に来て下さった方々に気持ち良く帰って頂きたいと思うのはボランティアセンター一同の思いでもあります。

## 集会所の外に水道取り付け

---

### 集会所の外に水道取り付け

2005/07/03 Sun 20:02 | posted by yamav

とても暑い一日でした。

仮設住宅周辺には"ねじ花"が咲いています。

今日は長岡市災害ボランティアセンターとボランティアさんの協力により山古志仮設住宅内全五ヶ所の集会所外の水道工事を行いました。

水道蛇口が集会所の中に一つしかなく、今までは中からホースを繋いでプランターへの散水を行ってました。

これで花へ水をやるのがとても楽になります。

集会所周りの花のお世話をされている住民の方々にとても喜んで頂けました。

陽光台の集会所では小千谷から「なつメロ愛好会」のみなさんが来てくださいました。

メンバーの中には山古志出身の方も居られ、またお馴染みの曲ばかりで集会所には溢れんばかりの人が集まりました。



また新陽の仮設住宅では運動会が、青葉台の仮設住宅では七夕まつりが。

それぞれの地区の方々が企画し楽しまれたようです。

みなさんのパワーに梅雨の雲も蹴散らされた今日でした。



仮設住宅横の街路樹脇に植えたヒマワリが木に届くくらいに育ち、大きな花を咲かせてます。ボランティアセンターでの中心的活動として、お茶会や個別訪問を行っております。

お茶会では来て下さる方と色々とお話を伺ったり、またそんな中からボランティアとしてどんな関わり方、お手伝いが求められているのかを聞き、次への活動を考えたりしております。

個別訪問では安否確認という事だけでは無く、お体の具合や何か困った事が無いか伺ったり、「お茶でも飲んでいきなよ」の声にたまには甘えさせて頂きお邪魔することも・・・

これからますます暑くなっていくので、熱中症の防止を呼びかけたり、お年寄りの方によってはエアコンの操作方法の説明が必要な方もいると思うので、部屋の温度を注意しながらも訪問して行きたいと思います。どちらの活動もボランティアの存在を認識して頂き、信頼感を築く事が出来たのではないかと考えております。

そして来てくれるのを楽しみにして下さってる方もとても多いのです。お話を聞いてもボランティアで処理しきれないことも有ります。社協、ヘルパーさん、そして行政と連携して良い方向へとなるように心掛けております。このような地道な活動に、長岡市内や近隣市町村から継続的に来て下さるボランティアの方々が居ります。

ボランティアセンターのスタッフは3人、スタッフだけではとても手が足りません。ボランティアの方々の活動に感謝しております。

## 避難指示・勧告解除

---

### 避難指示・勧告解除

2005/07/22 Fri 18:02 | posted by yamav

本日正午、長岡市山古志地域の虫亀、竹沢、小松倉、種苧原の四集落と法末（小国）の全世帯、西谷（越路）、濁沢町などの一部、そして小千谷市東山地区の避難指示・勧告が解除されました。

解除されたといってもライフラインは完全では有りません。  
そこには学校も行政もありません。  
帰られる方も限られると思います。  
完全に仮設住宅から引っ越すということも難しいでしょう。  
そして入れるのは住民の方と工事関係者というのは変わりません。

当ボランティアセンターでは梅雨明け後、避難指示解除後を想定して家の片付けなどのお手伝いを考えていました。

事前に住民の方からニーズをお伺いしており、今日は現地を確認してきました。



八月の上旬に活動予定ですが、今回はボランティア募集はせず、行政、社協の方々と協議の上、決めさせて頂いた団体等をお願いする予定です。

活動参加されたい方も多いと思いますが、通常とは違う中でのことです。  
何卒、ご理解の程お願い致します。

## 丘陵公園のひまわり

---

丘陵公園のひまわり

2005/07/24 Sun 16:52 | posted by yamav

今日は仮設住宅の近くにある「国営越後丘陵公園」に植えたヒマワリの様子を見てきました。五月十四日にひまわりおじさん達が植えたヒマワリは公園の緑の丘の中、青空をバックに高く、綺麗に咲き誇っていました。



休日ともあって公園内は家族連れが沢山でした。

アスレチックで遊ぶ子供たち、芝生でキャッチボールやゲームをする親子、水遊び場ではしゃぐ子供たち。

暑い中でも子供たちは元気です。山古志仮設の住民の方や子供たちともお会いしました。元気に遊ぶ彼らの姿を見ると、私たちも元気になります。



## 錦鯉飼いはじめました！

---

錦鯉飼いはじめました！

2005/07/25 Mon 19:02 | posted by yamav



ボランティアセンターで鯉を飼いはじめました。

この鯉は神戸から来られる「ひまわりおじさん」こと荒井勲(いさお)さんが被災地各地の養鯉業者から分けて頂き、神戸の里親に育ててもらったものを少し分けて頂きました。

一番大きなのは一郎。白く一番小さいのが花子。その他、沢山. . . です。この鯉の親は血統(?)の良い鯉だそうです。

。錦鯉は日本で作られた唯一の観賞魚で「国魚」ともいわれています。

自然界にいる真鯉の中からおもしろい色彩を見だし、改良に改良を重ねて現在の美しい姿が創り上げられてきました。

その始まりは江戸時代の中期とか。そしてその発祥は山古志地方です。

雪深い山間地の人々が極彩色の錦鯉を作り今日見るような多くの品種を創造してきました。

山古志の養鯉業を営むみなさんは、その伝統と誇りを持っています。

中越は古志の錦鯉が神戸で、そして同じ稚魚たちが、このボランティアセンターで、なんか素敵じゃありませんか？

ボランティアセンターの鯉は色彩にこだわらず元気に育てて欲しいです。でも大きくなったら水槽じゃ飼えないし. . . ボランティアの方に里親になってもらう事も考えなくては。

### ■■■中越地震復興応援写真集「山古志のこどもたち」■■■

この写真集を全戸配布しました。

今の子供たちだけでなく、昔の子供たちの写真も。きっと、住民の方の子供の頃の写真もある事でしょう。写真には色んな力が有ると思います。その瞬間を記録しておいたりするだけでなく、大切な思い出がそこに有ります。大切な思い出はまた強い思い、力を与えてくれるのではないのでしょうか。

復興応援写真集ですが、住民の方々、写っている方々の励ましになったのではないのでしょうか。

## 越後丘陵公園で人文字

### 越後丘陵公園で人文字

2005/07/29 Fri 17:41 | posted by yamav

国営越後丘陵公園に高円宮妃久子さまをお迎えし山古志の方々と人文字の披露がありました。付近の学校、住民の方々とボランティアも参加して来ました。久子さまのご挨拶の後、山古志の小学生と中学生の代表挨拶。そして『元気です やまこし』と人文字を作り傘を差します。山古志の方々が「元気です!山古志!」と言った後に全員で「ありがとう!」と大声で返し黄色いバンダナを空に向かって振りしました。



(画像は練習風景)

日中は最高気温が30度を超える中で山古志からの参加者はお年寄りが多くて心配しましたが丘を吹く風は少しずつ涼しくなり、どなたも体調を崩すことなく久子さまをお見送りして終了しました。

参加していたので上空からの映像を見る事は出来なく残念ですが、後で関係者から聞いた話ではとても良い出来映えで感動したそうです。

ご苦労された山古志の関係者も住民の方も涙している方が居られました。

「元気です!山古志!」

でも、

「まだまだ、これからです!山古志!そして中越!」

## 留学生ボランティアとの交流会

---

### 留学生ボランティアとの交流会

2005/07/31 Sun 18:47 | posted by yamav



日本の学生を含め韓国・中国・トルコ・米国・バングラディッシュなどからの留学生の方々が「文化交流」を兼ねてボランティアに来てくださいました。

仮設住宅内に出来るディサービスセンターの周りをお花で飾ろうと、住民の方々とプランターへの花植えをして設置して

くださいました。

まだ工事途中のセンターの玄関周りは花でにぎやかになりました。

ボランティアセンターもこの建物の一室を借りて活動することに成ります。

花の設置が終わった後に「よさこいアリラン」を踊ってくれました。

みなさんの元気で自らも楽しんでいる様子を見ている方も笑顔で見られました。

また、簡単なゲームや歌もあり、集まった方も一緒になって楽しまれたようです。



山古志の方々からは「神楽舞」と「おかめ踊り」を披露。

留学生の方々は山古志の伝統文化に感動されたようでした。

活動報告 | - | -

pooh | 2005/08/03 01:31

この交流会参加していた者です！

留学生に日本語を教える日本語ボランティアサークルのメンバーたちといっしょに参加しました。

自分達にとってもすごく良い経験でした。

自分達は大したことができたわけではないですが、とても歓迎してくださって、かえって元気をもたらって帰りました！

またぜひたずねたいと思います。ありがとうございました！！！！

## 長岡祭りの花火！

---

長岡祭りの花火！

2005/08/03 Wed 23:06 | posted by yamav



昨日今日と長岡祭りの大花火大会でした。

今日の花火にはNHK衛星ハイビジョンでの特別番組のため、長岡に係わったボランティアや長岡市内の住民の方、旧山古志村の住民の方が特別招待席にて観覧しながら取材など受けました。

二日目、今夜のオープニングでは、なんと中越復興テーマ曲とも言える「Jupiter」を平原綾

香さんが生で歌ってくれました！

その歌にも、そしてご本人が来てくれたことにも感動しました。

花火のフィナーレは昨年から企画の有った「フェニックス」です。

震災前から有った企画なのだそうです、震災後の特別花火のため復興花火のようなイメージとなりました。

この花火が素敵で素敵で・・・

6箇所からの打ち上げ花火。空を覆うような花火の広がり。まさに「フェニックス」です！

そしてBGMには「Jupiter」

花火の素晴らしさと、この数ヶ月のいろいろな思いに涙する人も沢山居たようです。

平原綾香さんも感動して涙していました。

元気な長岡を全国に発信しようがんばってます。

みなさんの応援が有るから出来る事だと思っています。

どうか、これからも応援をお願いいたします。

そして、来年の花火をみなさんにまた見て頂きたいです。

フェニックスとは：

## 避難指示・勧告の解除に伴って開始

---

7月の虫亀、竹沢、小松倉、種苧原の避難指示・勧告の解除に伴っての活動開始

## 旧山古志村内でのゴミだし片付け

---

旧山古志村内でのゴミだし片付け

2005/08/06 Sat 23:46 | posted by yamav

旧山古志内では初のボランティア活動を行いました。

避難指示解除されている種芋原集落と小松倉集落の住居内のごみ出しと後片付けです。



(画像は小松倉集落での様子)

避難指示解除前から住民の方は少しずつ後片付けを行っていらしたので、お手伝いの必要の無い所も有ります。

しかし、なかなか手を付けられずにそのままの方も居られます。

私たちはそういうところのお手伝いを、そして手を付けることが出来なかった方々が整理を始めようと思う「きっかけ」に成ればとも思います。

片付けをボランティアで全て出来るとは思いません。

全てをする必要も無いのでは？と思います。

今日の活動がいろんな意味で「きっかけ」に成るのでは・・・？

暑い中、参加して頂いたみなさん、本当に有難うございました。

先ずは行政、社協の方々の協力と連携で今日の活動が無事に終了できたことを嬉しく思います。

明日は竹沢集落での活動を行います。

なお、今回の活動でお手伝い頂いているボランティアの方々は事前をお願いしていた団体の方々です。

一般のボランティアの方の参加は募集しておりませんので、何卒ご了承の程、願います。

## 旧山古志での活動二日目（竹沢・桂谷）

---

旧山古志での活動二日目（竹沢・桂谷）

2005/08/07 Sun 19:53 | posted by yamav



昨日に引き続き、旧山古志内ではボランティア活動を行いました。

今日は役場周辺の竹沢・桂谷の住居内のごみ出しと後片付けです。

家財道具を家の中から運び出し、ゴミとして出せるものはゴミ集積所に運び、保管しておくものを倉庫や車庫などに運び出すお手伝いです。

お手伝いに入ったお宅の方は缶ジュースを用意してくれたり「お茶でも飲んでけ」などと声を掛けてくれたり・・・

そのお気持ちだけでとても嬉しいです。

お昼は当然持参ですが、お手伝いに入ったお宅の方と一緒にお昼をとったりして“作業”だけでなく、ボランティアと住民の方の“繋がり”をも持てたのではないかと感じます。

そして今回活動されたボランティアの方々は“繋がり”を持った分、きっと、また山古志に関わってくれる事でしょう。

今回の活動では倒壊家屋は作業が危険なのでお手伝いをどうするべきか考えてました。重機が入り同時に作業することは難しいですが、ボランティアがどのような作業まで関われるのか？どのくらいの手間と労力が必要なのか？ある意味、試験的なお手伝いをさせて頂きました。

やはり、この手の作業に従事された方、経験者でないとても危険な作業です。当たり前ですが安全靴や皮手袋など装備もしっかりしないとイケません。業者さんの絡む話でも有ります。

長岡、旧山古志の行政、社協、そして業者さんとの連携が必要な作業でしょう。

色々バランスの難しい所ではありますが、きっとボランティアの力も必要となると思っております。

## 虫亀集落での活動

---

### 虫亀集落での活動

2005/08/20 Sat 19:52 | posted by yamav

虫亀集落での家の片付けとゴミ出しのお手伝いをしました。

残暑、まさに残暑の中での活動でした。

お手伝いした家の方から、「この景色が好きだから、ここを離れたくないんだよ」と二階からの景色を見せていただきました。



そんな景色の所々にえぐられたように土肌が出ている所も。

ただ、この土地を訪れた人がまた来たくなるのは解る気がします。

それは景色だけでなく、そこに住まわれている人と接すると尚更でしょう。

## 虫亀集落での活動2

---

### 虫亀集落での活動2

今回活動に参加してくださった地元大学のみなさん、有難うございました。



▼旧虫亀小学校前本部での現地スタッフ。



暑い中でも元気いっぱいのボラセンスタッフ（中央2人）、役場の方、社協の方、中越復興市民会議の方、新潟災害ボランティアネットワークの方、お疲れ様でした。

関東の大学との活動

2005/09/21 Wed 15:00 | posted by yamav

8月22日から9月18日の間、関東の大学とのコラボレートで山古志地域内でのボランティア活動を行いました。

参加された学生ボランティアは延べ180人。50件ほどのお宅の片付けやゴミ出しの手伝いを行いました。



活動の中には住民の方の家でのお手伝いだけでなく、公共施設の片付けや草刈などもあります。前者が相手が見え反応が見える「直接的」な活動とすれば、後者は相手や反応の解らない「間接的」な活動とでも言えるでしょうか。

「直接的」な作業では家の中が片付き、家の方から感謝され気持ち良い活動となります。

「間接的」な作業は片付けて綺麗になっても誰からか感謝されることがありません。

また学生の中からスタッフとして運営や学生たちの後方支援的な作業をしてもらったのですが、彼らも本音は現場での作業に出たかったことでしょう。



### 関東の大学との活動2



(作業活動前、学生たちによる活動資材チェック)

しかし、そのどれもが必要な作業であり、最終的には被災地復興に繋がっていることだと思います。どんな小さな活動も、詰まらなく思える活動も、その先には誰が、何が、と全体的な視点から見て活動する事が大切だと思います。

現地での活動を終えて帰る頃の彼らはそれに気付いているのではないのでしょうか。

## 関東の大学との活動3

---

### 関東の大学との活動3

「片付けするぞ！でも自分たちに何が出来るのか？」と気負いと戸惑いのあった彼らが帰る頃には「自分たちにも出来ることがあり、それは目に見えることだけでは無い」と来たときとは違い戸惑い無い良い顔をして話してくれます。



その言葉の中には、人の復興のためには“心の支援”が必要なことをも意味しているのではないのでしょうか。

彼らの現地での活動は終了しましたが、また機会があれば必ず来てくれることでしょう。そしてこの活動が彼らの“始まり”でもあるでしょう。



## 高校生のボランティア参加

---

### 高校生のボランティア参加

2005/08/11 Thu 18:06 | posted by yamav

新潟市より高校生と引率の先生がボランティアに来てくださいました。

午前中は集会所で行われている「お茶会」に参加していただき住民の方々とふれあっていただきました。



午後からは週末に行われる「盆踊り大会」の準備で、開場を飾る灯籠の障子貼りをしていただきました。

初めての作業に慣れない手付きながらも、先生や住民の方のアドバイスで綺麗に貼れたようです。

ボランティア活動ってなに？ ということをやるの？

今日のこの作業がボランティア？

参加された方の中にはそう思った方も多いのではないかと思います。

それでも午前中に住民の方との交流を体験したことによってどんなことが大切なのかを感じてくれたのではないのでしょうか？

最後にスタッフが言った

「今日のことを、山古志のことを忘れないでいてくれること、関心を持ち続けてくれることもボランティアです」

この言葉も少しは理解していただけたことでしょう。

彼等の若さ、純粋さは色々なことを感じ、色々なことを吸収していつてくれたと思います。

## ボランティアセンターの引っ越し

### ボランティアセンターの引っ越し

2005/08/10 Wed 18:45 | posted by yamav

陽光台仮設住宅内、三つある集会所の並びに山古志地域福祉センター「なごみ苑」が開所しました。ここではディサービスを始め、介護予防事業や配食サービスなども行っています。そして、この建物の一室に「山古志災害ボランティアセンター」も引っ越ししました。



仮設住宅での不安を抱えたままの生活は長期化しており、高齢者の方々は、困ったことがあれば、社会福祉協議会事務所に相談に来られます。そのついででもボランティアセンターに立ち寄ってくれたりします。前と同じように社協とボランティアセンターが同じ建物内にある事は住民の方にも便利で戸惑う事も無いでしょう。避難生活をされている住民の方々の生活支援のためにボランティアはまだ必要とされています。ボランティア活動の拠点ということだけでなく、「災害ボランティアセンター」機能も含め仮設住民の方々に「ボランティアが居ます！」と少しでも安心感を持って頂けたらと思います。



## 山古志大盆踊り大会

---

山古志大盆踊り大会

2005/08/13 Sat 22:46 | posted by yamav



夕方から山古志応急仮設住宅全体での盆踊り大会と焼肉大会が行われました。

朝から強い雨が降ったりしてお天気が心配でしたが夕方には青空ものぞいたり、夕陽も顔を出してくれました。



## 山古志大盆踊り大会2

### 山古志大盆踊り大会2

当日来てくださったボランティアのみなさんにも協力していただき、山古志から下ろしてきた“やぐら”を組み立てたり、提灯を飾ったり、出店や焼肉大会用のテントを設置したり。夕方、やぐらから太鼓の音が響きだすと人がどんどんと集まってきました。可愛い浴衣や甚平を着た子供たちの姿がまた祭り気分を盛り上げてくれます。



山古志の盆踊りを教えていただいたのですが、なかなか難しい。綺麗に“しな”を作り流れるように踊るご婦人。小気良く存在感ある踊りをされる男性の方。踊り手によって手や足の運びが微妙に違うのです。見ていてもとても楽しいですが、やはり輪に入り踊るのが一番楽しいものです。山古志の方が打つ太鼓の音が丘陵に響き渡り、とても素敵な盆踊り大会となりました。当日、ボランティアとして参加してくださった長岡市内から来てくださった方々、新潟市の高校生と先生、ポップコーンや綿菓子、かき氷、ヨーヨー釣りを用意してくださった皆さん、新潟災害ボランティアネットワーク、中越復興市民会議の事務局の方々、遅くまで有難うございました。また、当日までの準備や当日の運営、焼肉や焼そばを焼いていたりと休む間もなく



動き回っていた実行委員（山古志の方々）のみなさん、本当にお疲れ様でした。そして、会場を提供してくださった「国営越後丘陵公園」に感謝。

あめ、あめ、雨・・・

---

あめ、あめ、雨・・・

2005/08/15 Mon 17:15 | posted by yamav

先日の盆踊り大会の後片付けが、昨日今日と大雨のため完了出来ておりません。

明日は天気も回復しそうですので後片付け・・・が大変そう。

この雨の影響で、山古志地域に入る道がまたも通行止めになったりしました。

濁沢を經由して山古志地域の虫亀集落に入る道も土砂崩れにより通行止めに。

そのため旧長岡市蓬平地域に入るのに逆に山古志を經由しないと入れない状況になったりしました。

通行止めは解除されましたが山古志地域内の道路復旧作業はきっと大変な作業となっていることでしょう。

さて、ボラセンの錦鯉！



別な種類の錦鯉の稚魚も入り賑やかになっています。

“なごみ苑”に移ってからは一段と元気良く、人影を見るとダー！！っと口をパクパクさせて寄って来ます。

つつい餌をやりたくなりますが、餌のやり過ぎは禁物です。水槽で錦鯉を飼うなんて！

と言う声も頂きますが、なごみ苑を利用される方には好評です。我々も、その泳ぐ姿に気持ちが癒されます。

さあ、大きくなっても良いように池でも掘ろうか！ などと言う声もスタッフからは上がってきます。

大きくなったら調理してやるから。美味いから！ と言ってくれる住民の方もいらっしゃいます・・・感謝（^^;



午前中まで雨が残りましたが午後からはお天気回復。

盆踊りで組み立てた“やぐら”を解体搬出したり、テントを撤収したり、汗だくで後片付けを行いました。

しかし、まだこの“角突きドラ”が会場に踏ん張ってます。

#### ■■■宮城県沖地震発生■■■

お昼前、11時46分頃、宮城県沖で震度6弱の地震が発生しました。

新潟県下越地方では震度4から3、中越地域でも震度2ほどありました。

外で作業をしていたスタッフは目眩と思い「体調わるいなあ」と事務所に戻ると、TVでは地震速報が。

気象庁の地震情報を見ると、かなり広域に揺れたようです。

津波が心配されましたが幸い大きな津波は無かったようです。

地震列島と言われる日本ですが、起きることを完全に予知するのは無理でしょうが、起きたとしても被害を少なく抑えられる「まちづくり」は必要なのでしょう。

それは、ハード面だけでなく、ソフト面でも。

被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。

2005/08/19 Fri 20:54 | posted by yamav

昨日今日と、先日盆踊りで敷物として使用したブルーシートを洗ったり、21日に行われるイベントのためにテントをまた準備したり、チラシ配布をしたり・・・広い仮設住宅敷地内の中、歩き回るだけで汗が滝のように流れます。蒸し暑い中でスタッフとお手伝いしてくださっているボランティアの方々は汗だくで活動しております。

そんな暑さの中でも周りの植物は秋の気配を見せてきています。



昨日まで3日間、東京から指圧のボランティアで来てくださった方がいました。ご自分の指圧医院の休みを利用してなのに休憩をする間もないくらいに一日中、活動してくださいました。一人ひとりを丁寧に指圧されるので、一日で10人くらいが精一杯。

指圧を気に入られた住民の方が「近くに行ったら寄りたいから住所を教えてください」と言われましたが指圧の先生は教えずにいました。住民の方は「住所くらい教えてもいいでしょう」と思われたでしょう。その場に居合わせたスタッフも同じように思ったでしょう。活動を終わられてボランティアセンターに報告に来られた指圧の先生は、「営利目的で来たんじゃないんで住所を聞かれても教えないでいました」と言われました。

「対応がまずく、不機嫌な思いをさせたかもしれないですが・・・」住民の方にはその旨、伝えておくので心配されないようにとお話しました。小さなことですが、一言中継するだけで両方の思いが通じるものだと思います。

住民の方の立場。 ボランティアの方の思い。 我々はその両面を考え、時に橋渡しの的なことも必要であったりするものだと、改めて考えさせられました。

さてさて「秋の花が咲き始めたな～」などと思っているのも良いですが、周りの草刈も必要になってきたなと思うこの頃です。そして、明日は虫亀集落での片付けボランティアです！お天気変わりやすいこの頃、天候が心配です。

# 地震発生

## 地震発生

2005/08/21 Sun 13:30 | posted by yamav

本日11時29分頃、中越地方を中心に甲信越地方で地震がありました。

長岡市小国町法坂では震度5強。

陽光台仮設住宅内にあるボランティアセンターも結構揺れました。ドン！という突き上げの後に5秒ほどの立て揺れ。幸い物が落ちたり、住民の方にも騒ぎがあったりとかは無かったです。



(発生直後の仮設住宅、カメラ付き携帯電話での撮影)

以下は11時59分気象庁地震火山部の発表です。

震源地は新潟県中越地方(北緯37.3°、東経138.7°)で震源の深さはごく浅い、地震の規模(マグニチュード)は5.0と推定されます。

震度5強 長岡市小国町法坂 震度5弱 小千谷市城内

震度4 上越安塚区安塚 上越浦川原区釜淵 上越牧区柳島 上越柿崎区柿崎 上越吉川区原之町 長岡市上岩井 柏崎市中央町 柏崎高柳町岡野町 十日町市千歳町 十日町市水口沢 川口町川口 刈羽村割町新田

震度3 糸魚川市青海 上越市大手町 上越市中ノ俣 上越市木田 上越大潟区土底浜 上越頸城区百間町 上越中郷区藤沢 上越清里区荒牧 上越三和区井ノ口 上越名立区名立大町 上越大島区岡 妙高市栄町 長岡市浦 柏崎西山町池浦 十日町市松代 十日町市松之山 与板町与板 和島村小島谷 出雲崎町米田 出雲崎町川西 湯沢町神 塩沢町塩沢 津南町下船渡 魚沼市堀之内 魚沼市今泉 南魚沼市六日町 南魚沼市浦佐

旧山古志地域でも震度4ほどあったようですが被害は無かったようです。

昨日も朝6時頃に震度1、14時45分にも震度1、22時20分くらいには震度2の地震がありました。昨夜も強い雨が有りましたし今夜も雨となりそうです。土砂災害などがまた心配されます。

## かごづくり

### かごづくり

2005/08/23 Tue 18:54 | posted by yamav

今日は長岡市内からいつも来てくださるボランティアの方と住民の方とで"かごづくり"を行いました。



みなさん好きな色のカラーテープを選んで賑やかに作成が進んでいきます。

もともと、色々な手作業をされていた人が多いので、みなさん綺麗に編み上げていきました。



出来上がったかごを前に記念撮影です。

簡単な工作でしたが何かを作り上げる楽しさ、改めて実感されたのではないのでしょうか。

2005/08/25 Thu 18:50 | posted by yamav

以前から長岡市内で活動されているみなさんが紙芝居イベントを行ってくださいました。



年齢に関係なく親しむことが出来る紙芝居。臨場感のある話し方や、紙芝居の見せ方に真剣に見入るお年寄りの方、いつもは騒がしい子供たちも引き込まれるように見えていました。

紙芝居の後には障害者共同作業所「ワークセンターざおう」で造ったパンの直売がありました。みなさん紙芝居も楽しまれたようですが、パンも楽しみにされていたようです。

さて、久々に共同畑の状況など、



(手前はボラセン畑のカボチャです)

ナスにキュウリにトマトにカボチャにピーマン、ジャガイモ、エダマメ、トウモロコシ。収穫が終わったものも有りますが、まだまだ一面濃い緑で覆われております。さあ次は大根を植える予定のボラセンです！





陽射しは未だ暑くも、吹く風は秋の涼しさを運んできます。



名古屋から届いた朝顔が“なごみ苑”の玄関先で毎朝、花を咲かせてます。

大学生のグループが1グループ四日間ほどの期間、連続して活動してくださってます。ボランティア活動の経験が殆ど無いと言う彼ら、初日は「何が出来るのか」と言うような戸惑いの様子が見られました。そして、行動するにしても少し“遅さ”が感じられました。しかし、最終日の彼らには戸惑いもなく、何かに気付いたような顔つき。そんな彼らの感想を聞いてみました。

・どんな小さな作業や詰らないと思ってしまう作業でも、全体の中では大切な一つ。今やっている活動の意味を考え活動する事が大切。 ・色んな方々の支えがあって自分たちも活動する事が出来る。 “する”というようり“させて頂いている”と感じた。 give and take! ・これで終わりではなく、これからも関わって行きたい。 ・人柄の大切さ、コミュニケーションが大切と感じた。 ・いろいろなところで“人の繋がり”を感じた。 ・今回の活動を通して経験したことが大切。 等々・・・

ボランティア活動は今回の災害ボランティアや震災復興だけでなく、身近なところからでも出来ることもあります。色んなことに気付いた彼等が、これからも中越大震災復興のためにと考えたり、地域のことを考えたり、またボランティア活動ということだけでは無く、彼らの心の中では何かへの「第一歩」となったのではないのでしょうか。

## 京より舞妓&芸妓

---

京より舞妓&芸妓

2005/09/20 Tue 20:38 | posted by yamav

仮設住宅の集会所玄関に普段見ない綺麗な草履が並んでいました。  
なんと京都から舞妓さんと芸妓さんが慰問に来てくださいました。



忙しい時間の中、新陽、青葉台、陽光台の3箇所の集会所で京舞を披露してくださいました。見ている女性の方々からは「かわいいねえ」と、男性の方々からは「綺麗だねえ」との声でした。先代から間違うことなく伝わった伝統の雅な舞。その優雅さにみなさん、うっとりで見とれていました。

舞が終わった後にはお二人から住民の代表の方々に“生八橋”が渡されました。

それをその場で皆さんで頂きながら、少しの間、おしゃべりと一緒に撮影会。

今日は蒸し暑い日となったのに、汗もかかずに涼しげなその姿は本当に優美なものでした。

その姿に見ていたみなさんは大変癒されたのではないかと思います。

緩やかに穏やかな時と風がそこには有ったように思えます。

## ひまわりシンポジウムと琉球うどい(踊り)

### ひまわりシンポジウムと琉球うどい(踊り)

2005/09/23 Fri 20:26 | posted by yamav

この夏、被災地各地で咲かせた神戸からのひまわりの種。

そのひまわりたちのお世話をしてくれた方々が集まって「ひまわりシンポジウム」が行われました。

ひまわりおじさんこと荒井さんのお話や、みなさんのひまわりを通しての復興への“想い”がリレーで語られました。

このような活動で神戸と中越各地の繋がりを作ったひまわりおじさんは凄いです。

### ネットアートの作成



完成したネットアートを前に神戸大マンドリンクラブの演奏  
神戸で作成されたネットアートも展示されています。





## ひまわりシンポジウムと琉球うどい(踊り)2

沖縄県より琉球舞踊、恩納村エイサー団 沖縄のみかんをみなさんに届けていただきました。

午前中には雨が降っていましたが日が射して真夏のような暑さに。

エイサー団のみなさんは「沖縄より暑いくらい」とびっくりしてました。

いろいろな琉球舞踊を披露してくださいました。



三線（サンシン）の音はまさに沖縄。

サー、エイサー、エイサー

スイッ！スイッ！

踊り手が持つ太鼓は“締太鼓”とタンバリンのような“パーランク” 活発勇壮な踊りがこの太鼓の音で一層賑やかになります。

最後はみんな一緒になって。 恩納村エイサー団のみなさん、有難うございました。



## 180名のボランティア活動

### 180名のボランティア活動

2005/09/28 Wed 23:55 | posted by yamav

新潟市より敬和学園高等学校の3年生によるボランティア活動がありました。



180名プラス先生方の協力で、共同畑「生きがい健康農園」内の草刈りと雨で崩れた側溝の修復を行っていただきました。女子生徒は草刈りを、男子生徒は側溝掘りをメインに作業開始！  
秋晴れ！

陽射し強い中でしたがみなさん一生懸命に活動してくださいました。

本当に頑張ってくださいました。

その結果はご覧のとーーり！

畑内のメインストリートの作業前と作業後。







### 震災ミュージアム

2005/10/11 Tue 20:37 | posted by yamav

大気中の水蒸気が少なくなったのでしょうか。 青空は澄み、雲も天高く流れているようです。ボランティアセンターの周りには「セイダカアワダチソウ」が群生して青空とのコントラストが綺麗です。北米産で観賞用に栽培されていたものが野生化した帰化植物の代表のような植物です。繁殖力が強く、色々と問題ともなりました。

それよりも環境が変わっても新たな環境に適応し、生存域を広げていく植物のたくましさ、素晴らしさに感動しませんか？（そして植物と昆虫などが協力しあって生きている）



さて、山古志地域内での家の片付けやゴミ出しボランティア活動では、色々なものが捨てられたり焼却されたりしました。

家の方にとっては不要なものとなり、捨て去りたいもの、消し去りたいもの・・・

様々な思いもあるでしょうが、震災を忘れないため、伝えるためには、残し、多くの人に見ていただき、そこから色々と感じてもらうことも必要なのでしょうか。中越復興市民会議ボランティア活動部会では「震災ミュージアム」を作ろうとしています。ボランティアセンターも微力ながら協力しております。

10月23日～10月30日、長岡市まちなか考房にてプレ展示会開催





## クロマチックハーモニカ

---

### クロマチックハーモニカ

2005/10/02 Sun 19:46 | posted by yamav

クロマチックハーモニカ演奏で震災からの復興を応援しようと、長岡の仮設住宅をはじめとして、今年四月からチャリティーコンサートを行ってきた大阪の木谷さんが、越後丘陵公園内の「花と緑の館」でコンサートを行いました。

半年以上にわたって全国でチャリティーコンサートを行い、明日3日、小千谷市で締めくくり。木谷さんは阪神・淡路大震災の被災者でも有り、中越大震災を他人事とは思えずチャリティーコンサートを始めたそうです。

ボランティアセンターも開場準備や仮設住宅からの送迎などのお手伝いをしました。

クロマチックとは、「半音階」という意味で、この半音階を出すためにスライドレバーという押しボタンのついたレバーが付いています。本体右側に付いている押しボタンを押すことにより#(シャープ)やb(フラット)の音を出す事ができます。

コンサートで集まった全国からの励ましのメッセージと、義援金が旧村長の長島衆院議員に手渡されました。



ハーモニカのリードを揺らし奏でる音は優しい空気の振動。

耳で"聞く"だけでなく、身体で"感じ"、そして心に"響いた"のではないのでしょうか。



## 軽トラック贈呈式と復興支援コンサート

軽トラック贈呈式と復興支援コンサート

2005/10/16 Sun 19:10 | posted by yamav

読売光と愛の事業団様より軽トラックが長岡市社協へ贈呈され、長岡市災害ボランティアセンターと山古志災害ボランティアセンターに一台ずつ配備されました。



待ちに待ったオートマの軽トラです！

贈呈式が終わった後には「歌でつなぐこころの調べ」と題して復興支援コンサートが行われました。

五月には川口町などでも行われ、昨日15日には小千谷でも公演されました。

今日は陽光台と新陽の仮設住宅集会所でコンサートです。

集会所移動の際の荷物運搬にさっそく軽トラが活躍しました。

みなさんプリマドンナクラスの実力の持ち主ということで、その歌声、表現力、声のアンサンブルの素晴らしさ！！！！

ポピュラーなオペラから新潟の歌、そして歌謡曲。

「パパパの二重唱」などの親しみやすく楽しい振りの付いたオペラには和やかな笑いが。

こんな間近でホールの音響もなく、まさに生の歌声です。

それだけに一体感も有り、アンコールの「ふるさと」では涙していた方も居りました。

全ての歌が終わった後に声楽家のみなさんとピアノ演奏の方が来られた方一人一人に声を掛けて回られました。

声楽家のみなさんも涙してました。

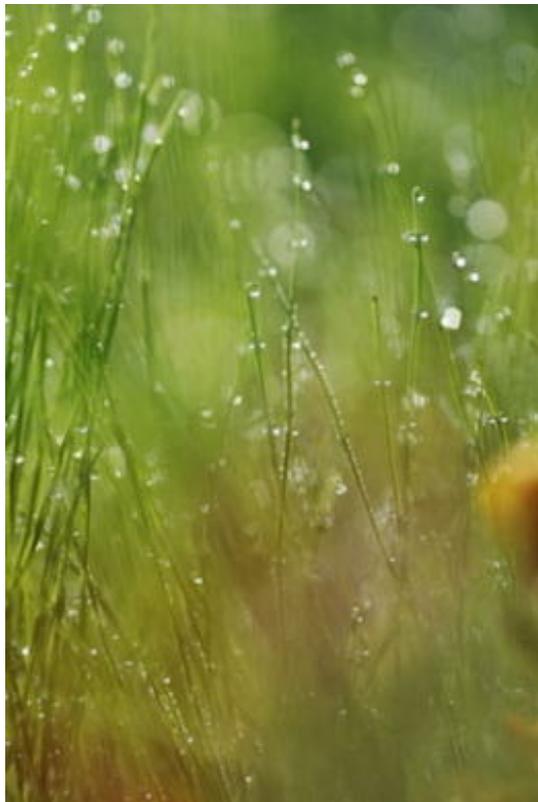
一体感有るその空間に感動されたそうです。

そして「逆にみなさんから元気をももらったようです」とお話ししてくださいました。





晴天の朝は露をまとった草木たちがキラキラ輝いています。



有り難いことに全国から個人でも「物資を届けたい」と申出てくださる方がまだまだいらっしゃいます。

送る前にまずご連絡下さい。

それが必要とされているものなのか、また、何が必要なのか・・・

善意の気持ちで送ったとしても、一方的に送ってしまった場合には「善意の押し売り」としかならない場合も有ります。

折角送られたものが不要であったり、余剰となってしまってでは送られるみなさんのお気持ちが届かないままになってしまいます。

ボランティアセンターとしてはそれは残念であり、送っていただいた方の気持ちを考えると心苦しくなります。

また、複数のものを送る場合にはなるべく一つの箱には同

じ種類のものを、そして個数やサイズなどもわかるようにしておくことと現地では労力を抑えられてありがたいものです。

生活必需品は殆ど問題ないとしても、やはり届けられる物資はありがたいものです。

そして「まだ忘れられてはいないんだ」と思えると嬉しいものではないでしょうか。

以上、失礼なことを言っているかとも思いますが、何卒ご了承のほど、お願いいたします。



さん方が心配です。疲れをためているのではないのでしょうか。

## 花の植込み：秋植えのパンジー

---

花の植込み：秋植えのパンジー

2005/10/21 Fri 18:40 | posted by yamav

先週末に土作りをして準備しておいたプランターにパンジーを植え込みました。

前は雨の中での活動でしたが、今日は花々が一層鮮やかに見える天候でした。

前回に引き続きコメリの方々が沢山応援に来てくださり、住民の方々と、そして参加してくださったボランティアの方々と一緒に行いました。

土入れから今日まで、コメリの担当の方がほぼ毎日来てくださり、土の状態を管理してくださいました。

ふわふわの土床で植込みの作業もはかどりました。

雪が降るまでの短い期間ですが、プランター毎に彩られた花々がまた集会所を利用されるみなさん、前を通られるみなさんの目を楽しませてくれることでしょう。

意識せずとも視界の中に“花”が有るということは少しでも気持ちを癒してくれるものではないでしょうか。

パンジーには「私を忘れないで」という花言葉の他に、「平穏・平和」という花言葉もあるそうです。

「だからこの花を」とコメリの方が言われていました。実は準備の全てを一週間ほど前倒しにして行っていただきました。

強行ともいえる感じでしたが、どうしても一年を前にして綺麗な花たちで彩っておきたかったのです。無理なお願いを聞いてくださりまして、本当に有難うございました。



また、午後には夏に行った復興ボランティアの反省会を行いました。

その状況の中で色々な部門が連携し“協働”することが出来き、良い形で活動できたのではないかとの大凡の意見でした。

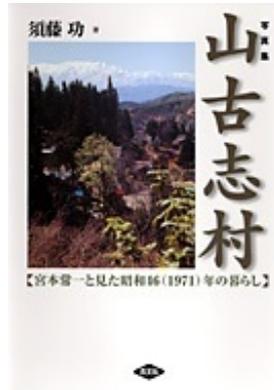
しかし、これに甘んずることなく反省すべき点は沢山あるかと思います。

そして今後の方策としては、やはり一番に除雪の問題が上がります。

雪が降ってから体制を作ろうとしても間に合いません。

まずは今年始めのような大雪とならないことを祈ってやみません。

山古志の民俗・文化を見ることが出来る写真集「宮本常一と見た昭和46（1971）年の暮らし」の配布を行いました。



この写真集は民俗学者・(故)宮本常一さんに師事した民俗学写真家・須藤功さんの写真集です。

宮本常一さんはかつて山古志の「村おこし」を指導したことで知られています。

温故知新。

この「村おこし」はこれからの復興のヒントにもなるのではないのでしょうか？

また、この写真集を見ていると、

田畑、山河、山古志の自然と触れ、土に触れて生きてきた山古志の方々は自らがその自然の一部であり、山古志の自然と一体であると感じられているのではないだろうか。

早く山に帰りたいと願うのは身に付いた一体感があるからではないだろうか。

そんなことを感じてしまいます。

## 震災から一年

---

震災から一年

2005/10/23 Sun 19:56 | posted by yamav

強風に時折り雨が運ばれてくる日でした。

震災から一年という今日、各地で色々なイベントが行われました。

長岡駅前には「米百俵まつり」が行われ震災復興コーナーが設けられました。



震災復興コーナーでは献花台が設けられ、深く祈る方の姿が後を絶えませんでした。





花とお茶

2005/10/26 Wed 17:30 | posted by yamav

夏に朝顔の苗を送ってくださった愛知の方よりフラワーアレンジメントが届きました。



早速、仮設住宅にお住まいの方が利用されているサービスセンター「なごみ苑」に飾らせて頂きました。

野の花を使って職員の方が活けたりする花は清楚で良いものですが、アレンジされた花は華麗で、これもまた良いものです。

本当、そこに花が有ると無いとでは全然違うものですね。

また今日は静岡からお茶を届けて頂きました。

約200kg、600パック以上のお茶を送るではなく、ご自分たちで運んで来てくださいました。

仮設住宅の状況を直に感じて行かれたことと思います。

そして来年はこの倍以上を届ける予定だと仰います。

配布がまた大変な所ですが、秋晴れの空や住民の方とのコミュニケーションを楽しみながらお届けしたいと思います。

配布のお手伝いだけでもしてみたいと思われる方はお気軽にご連絡を下さい。

ブロックおりがみ講習会

2005/10/28 Fri 19:18 | posted by yamav

主催の「ブロック折り紙友の会」の佐藤さんは長岡出身で、なにかしら故郷への恩返しをということで「ブロックおりがみ講習会」を行ってくださり、角突き牛のグリーティングカードを作りました。

折り紙は、親子・家族など触れあいのための遊びとして使われるのはご存知のところだと思いますが、言葉のいらないコミュニケーションツールとしても良く使われます。

折り紙の効果を調べてみると、ストレスの解消、老人・障害者のリハビリテーション効果、また指先や頭脳が刺激を受けることにより幼児期の心と身体の発達を促進したり、想像力を高める能力開発にも役立つということです。

手軽で何処でも誰でもできる折り紙は年齢に関係なく遊びや趣味として幅広く親しまれています。

参加された方は折り方の手順図を見ながら作っていくのですが、途中でわからなくなる方もいます。

そんな時に周りの人に教えてもらい、また逆に教えて上げたりしながら進めて行きます。

そんな小さなことがまたコミュニケーションのきっかけとなるのだなと感じました。

## ギター 1 本

ギター 1 本

2005/10/29 Sat 23:51 | posted by yamav

新潟市出身で現在千葉県柏市を中心に活動する、シンガーソングライターみほりょうすけさんがアコースティックギター 1 本で陽光台の集会所に来てくださいました。みほりょうすけさんの活動は関東にとどまらず全国を飛び回っており、今年4月には新潟中越復興応援CDを発売し、チャリティーコンサートも行っているそうです。



透き通るような声とアコースティックギターの響きが集会所の中の空気に清涼感をもたらしてくれた感じでした。

山古志の方の中にもギターやハーモニカを得意とする方がいらっしゃいます。

是非、機会をつくって演奏

を聴かせていただきたいものです。

また、今日まで約一週間、同じく千葉県柏市よりマッサージの先生が滞在してくださいました。避難所でも活動されていた方で、顔馴染みの住民の方も沢山いらっしゃいました。みなさん少なからず肩や腰、腕や脚などの不調を感じているようで、連日、多くの方がマッサージを受けていました。

こんなことを言うのはなんですが、今回のように弱視の方をボランティアとして迎えるのはボランティアセンターとしても難しい所です。

宿泊は？食事は？送迎は？「ボランティアは自己完結。自分で用意するものです」とは言えません。

混沌とした震災初期とは違う。受け口であるボランティアセンターが“面倒”と思ったりするのは可笑しいことで、色んな方がいて、色んな支援の方法があり、またその方にとってはそれでしか出来ない場合もあります。

それが住民の方に必要なことならば、しっかりと受け口として対応するべきで、対応できるだけの仕組みが必要だと思います。



## とん汁とお餅

### とん汁とお餅

2005/10/30 Sun 18:45 | posted by yamav

山形のJA鶴岡 青年部・婦人部の方が、とん汁と餡子餅を振舞ってくれました。  
JA鶴岡の方々は昨年、避難所でも炊き出しを行って下さいました。



気温が上がらず天候悪い日でしたが、なんとか雨に降られること無く沢山の方に召し上がっていただきました。

大きな杵と臼で餅をついていると、住民の方は黙っていられなかったようです。

「力だけでついていちゃダメだ」

「ただつくだけじゃなく、餅が回るようにしなきゃ」

と杵を手に取りました。



何処の家でもあった「餅つき」の風景も、子供たちには珍しく見えることでしょう。

そうやって、つき上がる餅を待つのは、なんともワクワクするものです。

## とん汁とお餅2

### とん汁とお餅2

とん汁は1200人分が一度に作れる大鍋に、大きめに切った野菜やコンニャク、豚肉などがたっぷり！

熱々で、具沢山のとん汁でお腹の中から温まっていただきました。

「沢山来ていただけるかな」と心配していたJA鶴岡の方でしたが・・・



気付いたらこんなに並んでいて、鍋の底が見えるまで人が絶えませんでした。

また、鶴岡市内の小学校から沢山の寄せ書きを持って来ていただきました。



（代表の鶴岡市立黄金小学校生徒さんより、寄せ書きを受け取るボラセンおやじ）

色んな字があります。

小学生と思えない上手い字。

下手でも一生懸命丁寧に書いている字・・・

それぞれの素直な言葉に感動してしまいます。

## 民具の搬出

---

### 民具の搬出

2005/11/01 Tue 20:36 | posted by yamav

山古志地域内のお宅より資料館で保存するための民具の運び出しのお手伝いをしました。

古くから続く家が多く、昔使っていた道具は捨てることなく仕舞っているお宅が多いのです。



日常生活においては必要なく、処分されていても仕方ないようなものですが、以前の山古志の暮らしを知るための民俗資料としては貴重な物ばかりです。

震災で壊れることなく残ったものですから、なおさら貴重と言えるでしょう。

保存して伝えて行かなくてはいけない“もの”が沢山あります。

形ある物だけではない文化的なこともそうでしょう。

残すこと、伝え保存すること・・・

改めて、そういう“もの”の必要性、重要性を感じます。

※尚、今回の活動は行政からの急な依頼であったため、スタッフと中越復興市民会議の関係者で作業致しました。

## 畳の運び出し

---

### 畳の運び出し

2005/11/03 Thu 20:32 | posted by yamav

お年寄り一人暮らしのお宅から、畳を雪が降る前に車庫に移したいとの相談があり、お手伝いに行ってきました。



気温も上がらず今にも雨が落ちそうな天気でしたが、運び出しが終わるまでは何とか雨に打たれずにすみしました。工事車両が行き来する道路脇に建っているため、工事車両の迷惑にならぬようにと気は使ってましたが、なにぶん狭い道でしたので、ご迷惑をお掛けしたことと思います。

しかしながら、住民の方には必要なことですので、何卒ご理解いただきたい

。

ひと段落させたい。家の解体を済ませたい。

気がかりを残したまま、また雪に覆われるのは大変辛いことだと思います。

また、山古志小中学校の合同文化祭が仮設住宅近くの青葉台中学校で行われ、小学校五年生たちが仮設住宅を回って行った「中越大震災 わたしたちが伝えたいこと」アンケートの報告をしました。

「山古志にいつ戻れるのか分からない」「戻っても住む家がない」などの回答にはアンケートを取った子どもたちにも自身のことや自分の家の問題だけでなく、仮設に住む人たちの現状を、そしてこれからの問題を知る新たな機会になったのではないのでしょうか。

現在だけを見ているのではなく、五年後、十年後、山古志の復興には彼らの夢が必要なことでしよう。

最後にコカリナの演奏で児童と住民の方々が「ふるさと」の合唱をしました。

「山古志」への思い、そして復興への思いを新たにされたのではないのでしょうか。

※ 山古志へは今だ行政発行の「通行許可書」が必要で、住民の方と工事関係などが入れるだけです。また今回の活動は長岡市災害ボランティアセンタースタッフ（生活支援相談員）との協力で行いました。

地震つづく . . .

---

地震つづく . . .

2005/11/04 Fri 17:30 | posted by yamav

仮設住宅周りの木々は紅葉が進んでいます。



(新陽仮設住宅と陽光台仮設住宅を結ぶ道の街路樹)

本日一時頃に地震がありました。

気象庁の発表によると、震源地は新潟県沖（北緯37.5°、東経138.5°）で震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は推定4.8。

布団の中で朦朧とした頭でしたが、グラグラと短い揺れでなく、ユラユラユラ~と言う感じで長い揺れと感じました。「地震だ」と感じましたが身体が思うように反応しません。

こんな深夜に、それも寒い時期に大きな地震に遭ったら、今居る場所で自分はどう避難し、どう行動するべきなのか . . . 眠れずに朝まで過ごしました。

すると体感はありませんでしたがTVで地震速報。

気象庁発表では、震源地は新潟県中越地方（北緯37.2°、東経138.7°）で震源の深さは約20km、地震の規模（マグニチュード）は推定3.0。

### 地震つづく・・・2

そういえば、長岡市主催で防災訓練が行われます。

日時は11月6日（日）10:00～12:00

仮想対策本部：青葉台中学校体育館（新潟県長岡市青葉台1甲222-1）

仮想被災現場：長岡市山古志地区（旧山古志村）

宇宙航空研究開発機構（JAXA）と協力し、小型カメラで撮影した旧山古志村の映像を衛星中継で送信するなど最新の通信技術を使った防災訓練を行う。上空からの映像だけでは判別しにくい建物の倒壊状況を詳細に把握できるほか、電話回線が不通になった場合でも情報収集が可能。衛星中継を使った防災訓練は全国でも初めてという。

訓練では被災地に四輪車両が入れない事態を想定し、調査隊が中継用の小型カメラ機材を積んだオートバイで旧山古志村に入る。隊員はその後、カメラや無線アンテナ付きのヘルメット、位置情報を送信するための全地球測位システム（GPS）アンテナなどを装着して徒歩で仮想被災地を回る。目の届かない場所を撮影するためのスティックカメラなども装備する。隊員が収集した映像、位置情報などは通信衛星のスーパーバードB2を経由して長岡市青葉台の仮想災害対策本部に送信する。端末画面上で映像や地図情報が確認できる。現場からの報告や災対本部の指示がリアルタイムで行えるという。【日本経済新聞より】

またFM長岡の協力で災害時に市役所と長岡消防署より緊急割込み放送が可能となり、防災訓練の様子を放送するそうです。

コミュニティFMの役割はまさに防災無線という所でしょうか。

非常時の備えは必要ですが、実際に使われないことがみんなの願いです。



一眼デジカメのボディーだけでも貸して頂けないものかと思う。N i k o n . . . さま。

## 続く雨

---

続く雨

2005/11/09 Wed 17:05 | posted by yamav

今日も強い雨。

昨日も一昨日も雨風の強い日でした。

昨日、午後2時半ごろ、長岡市隣の栃尾市上檜出、中越地震の災害復旧工事現場で土砂崩れが起き、作業員二人が生き埋めとなりました。

約40分後に救出されましたが病院で死亡。

亡くなったお二人は、県内の阿賀野市から作業に来ていました。

県内だけでなく県外よりも沢山の業者の方が作業に来ています。

続く強い雨風の影響が大きいのですが、安全管理という面を問われてしまうのは仕方ないことなのでしょう。

お二人のご冥福と、各地復旧工事現場の安全をお祈りします。

栃尾市も山に囲まれ、新潟の名峰「守門岳（1537m）」もあり自然に恵まれたところです。

マスコミでは被害が余り伝わっていないかも知れませんが、道や山がいたるところで崩落・陥没し、全面通行止めの箇所も多かったのです。

また、市内の酒造会社の煙突にヒビなどが入り、修理するにも業者も手が回らず、酒造会社の方々に修理されたそうです。

山古志とも隣接しており、中山間地では棚田も崩れ、山の風景も変わっております。

栃尾市内の仮設住宅に避難生活されている方も居ります。

そして栃尾市は来年一月に長岡市と合併します。

川口町、小千谷市そして長岡、旧山古志などが被災地として知られていますが、長岡市と合併した旧小国町や旧越路町の他に、柏崎市や十日町市、そして魚沼市（旧小出、堀の内、湯之谷、広神、守門、入広瀬）なども同じように被災されている方が居ります。

ボランティアセンターへの問い合わせで、避難しているのは山古志だけと思われてる方もたまに居ります。

一年経って、全国的にマスコミ・メディアで取り上げられることは少なくなってきましたが、旧山古志地域の他にも、山が、道が、田畑が、川が、そして家が・・・復旧が未だの所が多いのです。

### 視察企画

2005/11/11 Fri 19:11 | posted by yamav

小雨の朝でしたが、急速に天気が回復して秋晴れの今日でした。

夕方になると西の空に一番星として金星が見えます。

「宵(よい)の明星」です。

少し暗くなると東の空には赤く輝く火星もよく見えます。

雲ひとつ無い夕暮れは急激に寒さが増します。



(丘陵公園会議室に向かうネットアートの前で)

長岡市復興推進室の視察企画として各自治会、復興関係者による視察研修会が行われました。山古志の復旧状況を視察した後に陽光台の仮設住宅集会所でボランティアセンターの活動内容などの報告と意見交換会。その後、国営越後丘陵公園の会議室に移り、行政を交えての意見交換会が行われ参加しました。

復旧の進捗状況を見て体験していただき、復興へ向けた地域への支援と防災に対する意識、地域交流やグリーンツーリズムなどを考えて行く研修会です。

都市農村交流事業例のとして、通常時には地域交流や物産品の流通促進と安定を行い、もし災害が起きたときには交流地域に疎開したりという事業も始めて知りました。

## 視察企画 2

---

### 視察企画 2

外部との協力は新たな何かを生み、復興のためとなり、そして継続して交流していくことは、自分の地域のためだけではなく、相手の地域のためにもなる。

漠然とですが、そんなことを考えさせられました。



（丘陵公園展望360度パノラマ風景を見ながら地域の説明を。中央駐車場の上部に見えるのが陽光台仮設住宅）

越後三山〔駒ヶ岳(2003m)、中ノ岳(2085m)、八海山(1778m)〕は銀色に輝いていました。

守門岳の山頂も白く薄化粧をしていた今日です。

秋晴れの青空の背景。

そして紅葉の東山連山を手前に従えてコントラストある素敵な風景でした。

冬がすぐそこまで訪れています。

## ハーモニカ演奏とネギ

### ハーモニカ演奏とネギ

2005/11/12 Sat 20:12 | posted by yamav

J R 東労組の方々によるハーモニカ演奏が行われました。  
色々なハーモニカによる演奏。



また、自分たちで栽培されたネギを軽トラから溢れんばかりに持ってきて住民の方々に配ってくださりました。

太くて立派なネギです！

ネギにはβ-カロチン、ビタミンCなどがたっぷり含まれ、栄養価は緑黄色野菜並み。

風邪予防、集中力UP、そしてダイエットにも効果的！

眠れないときは枕元に置くとイライラを鎮め、心地よい眠りに誘ってくれるそうです。

心地良いハーモニカの演奏を聞き、夕飯のネギの万能効果で、夜はぐっすり眠れたのではないのでしょうか。

### ハーモニカ演奏とネギ 2

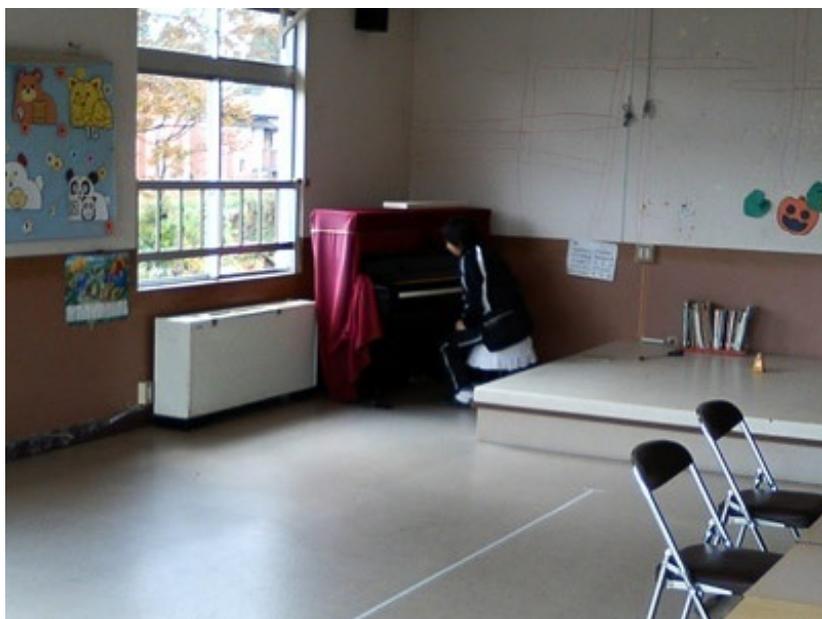
短い時間で慌しかったと思いますが、新陽、青葉台、陽光台の三箇所の仮設住宅で演奏を行ってくださり、ありがとうございました。



家のゴミ出し手伝いも同日に行っておりました。

家の片付けや小さな物は処分したけど、大きな物を出せずに困っていたとのことでした。

寄贈して頂いた軽トラ、大活躍でした。



途中、役場の方とお会いして、保育園の中から楽器などを運び出すお手伝いもしました。

一階の部屋全てが、下から強い力で突き上げられ、部屋の真ん中辺りが盛り上がった状態となっていました。

そんな遊戯室の中、片隅に置かれたピアノを役場の方が静かに引き始めました。

こんな中でピアノの音を聞くととは。静かな、本当に静かな保育園の中。

ここには子どもたちが遊ぶ声が響いていたはず。

窓の外を眺めながら少し感傷的になってしまった・・・秋だな～。

## ギターとパーカッション

### ギターとパーカッション

2005/11/13 Sun 20:20 | posted by yamav

富山から来てくださったお二人。ギターとパーカッションによる歌と演奏を行ってくださいました。お二人は色々なところで演奏を行い、義援金を募って来てくださいました。



忙しく活動している中、山古志の仮設住宅に来てくださいました。

実は、春先に演奏を行っていただく予定だったのですが、ボランティアセンターの手違いからお二人とのスケジュールが合わなくなり、今回まで延びてしまいました。

ご迷惑をお掛けしたにも関わらず、「また春にきます！」とまで言ってくださいました。

そんなお二人の気持ちは被災者だけでなく、ボランティアセンターの私たち

の励みにもなります。

また、この日も家の片付け手伝いを行っておりました。



災害家庭ごみを出せるのが今日までなので、年内に家の解体をされるお宅などでは出せるだけを出しておかなくてはなりません。何とかゴミとして出せる分は処理しましたが、必要な物を運び出したりするために、このお宅にはもう一度お手伝いに入らなければなりません。

日々、寒さが増しますが風邪など引いてはられません。

## 仔猫の里親募集

---

### 仔猫の里親募集

2005/11/21 Mon 18:30 | posted by yamav

久々に青空広がる一日。

気持ちよい朝でしたが、冷え込みは厳しく、放射冷却現象もあり、車は白く凍ってました。



数日前より、ボランティアセンターで預かっているメスの仔猫の里親を募集しております。

山古志から連れて来たけど、訳あって仮設住宅内では飼えなくなったとの事です。

生後、3ヶ月くらい？

白と黒のぶちで、鼻の下も黒くてちょび髭をつけているような顔つきです。

(現在の愛称は「チョコビ」)

とても賢く大人しい仔猫で、ちゃんとトイレ用の砂の上で用を足します。

ボランティアセンターで飼うことが出来ればよいのですが、ディサービスセンターという公共施設の一角を間借りしているものですから、いつまでも置いておく訳にはいきません。

こうしてブログを更新している現在も膝の上で寝ております(^^;

なるべく長岡市近郊で山古志ボランティアセンターまで来れる方を希望いたします。

どうか宜しく願いいたします。

現在は、毎日ボラセンおやじが預かって帰っておりますが、動物禁止のアパートゆえに・・・

## 米ニューオリンズからの視察

---

米ニューオリンズからの視察

2005/11/22 Tue 18:30 | posted by yamav

本日は米ニューオリンズからの視察がありました。

ニューオリンズでは今年八月末にハリケーン「カトリーナ」による被害を受け、今だ避難所生活をされている方々が居ます。

仮設住宅を建てて迎えなければならないが、どのように作ればよいのかということの問題としているようでした。

山古志の方々がどう避難され、この仮設住宅に引っ越し、現状はどうなのか。

住民の方々の避難所での問題、そして今の問題、これからの問題。

仮設内でのボランティアセンターの活動内容。

ボランティアに参加したきっかけ、これまで活動している訳は。

などなど、いろいろ質問されました。

また、畑があったり、花が沢山有る仮設の風景にとっても驚いたようでした。

残念なのは英会話の出来ない我々スタッフ、通訳を挟むことにより時間も取られるので、話したいことが伝えきれなかったところもあります。

被害の状況だけでなく住む所も違えば支援の方法や対策も変わって行くことでしょう。

それでも復興へ向けた人の思いは変わらないと思います。

ニューオリンズでの仮設住宅の支援やボランティア活動についても興味のあるところです。

## インフルエンザ予防接種

---

インフルエンザ予防接種

2005/11/24 Thu 18:20 | posted by yamav

日が射したかと思えば、強い雨が降り出したりと慌しい天気の日、ボランティアや物資の電話対応や、来客の対応、雨の合間を縫って物資を配布したり、定例のお茶会を行ったりと、こちらも慌しい活動でした。

毎度ながら、二人の女性スタッフの働きぶりには頭の下がる思いです。

お茶会では色々な話を聞きます。

面白おかしく話をして過ごす場合も有ります。

現実的な話を伺うと切なくなる場合も有ります。

「山古志に帰りたい」

そう思う気持ちはみなさんお持ちですが、

「帰ると友達も居ないし、他の集落まで行くのは大変だけど、仮設住宅で他の集落の人とも友達に成れ、こうして集会場に集まってお茶飲みも出来る」

そう言われるお年寄りの方も居ます。

こうした仮設住宅内で発生した新たな結びつき。

このような結びつきや集まりが、山古志に戻ってからでも継続できたらと思います。

それは住民と住民というだけではなく、住民とボランティアということでも。

「山古志でのボランティアに参加したい！」

そう思われる方は、まずはお茶会に参加して、触れ合いながら山古志を知って行く事も良いのではないのでしょうか。

色々な考えや見方がまた出来ることと思います。

今日、ボランティアセンターのスタッフ全員(3名)はインフルエンザ予防接種を受けました。

これは自分たちのためにもありますが、感染を広めないためにと考え、自主的に行いました。

パソコンもそうですが、ウイルス対策とは自分のためということだけでは無く、相手のために行う手段なのです。

これで大丈夫ということでは有りませんが、沢山の方と接するので出来ることはやっておく必要が有ると思います。

## 雨上がり

---

### 雨上がり

2005/11/25 Fri 17:32 | posted by yamav

風が吹くたびに木の葉が舞い落ち、木々の様子が次第に寒くなります。



西の空から雲が流れてきて東の空を覆います。

さあっと雨が降った瞬間、西陽が射し込み大きな虹が架かりました。

(虹を撮ろうと思い外に出たら住民の方と立ち話をしている逃してしまったあ)

今日は福岡県からミカンが、県内加茂市から梨が届きました。

先日に頂いた、キュウリや梅干と一緒に配りましたが、まだ配りきれしていないので明日も配布します。



また、明日以降にシュウマイも届く予定です。

これも全戸配布の予定です。

お届けのお手伝いしてくれる方、お気軽にご連絡をください(^^;

雨上がり、西陽射す仮設の風景など。

環境の不具合やブログ担当者の休みなどがぶつかり更新が途絶えておりました。

ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。

記事はあるので順次更新を行う予定です。

> Nonさん

どんな事でも理解を得られれば協力して頂けると思います。

幸い当ボランティアセンターは行政、社協の理解と協力を得て活動させて頂いております。

ボランティアセンターの必要性は各市町村の行政、社協により、それぞれの考え方が有ると思います。しかしボランティアが不要とは言えないのではないのでしょうか。

それぞれの立場や考え方がありますが、

「相手の傍に立ち、同じ方向を向いてみる」

そこで自分たちの思い込みだけでなく本当に必要な活動が見えてくるのではないのでしょうか。

Non | 2005/12/05 17:48

ボランティアセンターなど要らない。

そう言われるところが有るそうですね。

県や市社協の対応からもそう感じているのではないですか。

私も色んな活動をしてきて、特に地元社協の協力の無さには悲しい思いをします。

N | 2005/12/03 00:49

更新が途絶えているようですが...?

2005/11/26 Sat 20:05 | posted by yamav

今日は福岡から届いたミカンの仕分けとお届け、群馬からのキュウリと梅干をみなさんにお届けしました。



大変な数でもあり、またお天気の具合もあるので一日で配るのは大変なことです。長岡ボランティアセンターと福島「いわき明星大学」の学生さんの協力で夕方までに配り終わることが出来ました。

中越でのボランティア経験者もいて、自分達で考え、役割分担して行動してくれました。

午前中は緊張した感じでしたが、午後からは楽しそうに、住民の方と立ち話をしたりしながら配布していました。

お茶を頂いたり、色んな話を聞かせてもらったり、とても楽しく活動できました！

彼らの率直な感想です。いわき明星大学からは仮設住宅への引っ越しのときも参加しており、また目立つような活動ではありません



んが、地道ながら自発的に継続して中越に来てくださっています。

## 温泉見送り～バタバタ

---

温泉見送り～バタバタ

2005/11/30 Wed 18:02 | posted by yamav

冷たい雨が強く降る活動の始まり。

定例である集会所でのお茶会準備をしてから、長野県による日帰り温泉ツアーの招待日（独居高齢者のみ）であるのでその対応を。

新陽、陽光台、青葉台の各集会所までバスが迎えに来てくれるのですが予定時間になってもバスが来ないのですが、みなさんノンビリ待っていたようです。

バスをそれぞれの集会場まで案内しながら、みなさんを見送りました。

仮設に入って初めてこのような招待ツアーに参加されるお年寄りの方もいて、

「県外の子どものところに避難していたり、こっちにきても家の片付けもままならなくて、心配なことばかりだったけど、お茶会やイベントで楽しい思いをしたし、ボランティアさんに沢山手伝ってもらい冬を前に家の解体の目処もたったから、行く気になれた」

とお話してくださいました。

高速道路で行きは3時間程かかるので疲れはしないかと心配しましたが、「いい風呂だった～」と聞かせてくれて、往復のバスの中もとても楽しかったそうです。

「いらないからね～」と言っていたのにお土産を買って来てくれた方も・・・

断るのも失礼となるので、ありがたく頂きました。

ちょっとお年寄り向けのお菓子類だったのには、何となく笑ってしまった。

今日はその間に来客対応やボランティア、イベントに関する電話対応など一人でバタバタのボランティアセンターでした。

## チョコビの里親

---

チョコビの里親

2005/12/04 Sun 19:35 | posted by yamav

里親募集していた仔猫のチョコビ。

今日、長岡市内の方から連絡があり、チョコビはボランティアセンターを離れることになりました。

既に猫を何匹か飼っているのに、チョコビまで飼って頂けると。

優しい方で安心してお渡し出来ました。

里親に抱かれながら「ミャ～あ ミャ～あ」と鳴くのは、ここを離れるのが寂しいのかチョコビ～！  
いえ、夕方近くでお腹を空かせているのです。

きっと餌を催促しているのです・・・(><;

因みにボラセン事務所内をマイペースで徘徊していたカメキチ君（いつからそんな名前に？）

ボランティアさんのご協力で市内坂ノ上小学校に貰われて行きました。

学校側のご理解に感謝。

寂しくなった事務所内。今度は小鳥を飼おう！という声も。

ちょっと待った！ここで！？

どうせならミニブタが良いと思う。（飼いはしませんが・・・）

さて、今日は山古志出身のヘアデザイナー田中トシオさんから来年のカレンダーと、兵庫県西宮市のNPOからミニタオルが届きました。

ミニタオルは障害者の方が刺し子で熊や犬や車など模様が入っています。

雪マーク続きの天気予報ですが、空の様子を見ながら仮設のみなさんにお届けしたいと思います。

長らく更新していなくてごめんなさい

---

長らく更新していなくてごめんなさい

2005/12/30 Fri 10:17 | posted by yamav

12月後半に入り雪続きの空です。



26日に種芋原地区に行ってきました。  
雪の壁は、なんと3メートル！  
一面銀世界。

住民の方々は天候を見て山に「雪掘り」  
に通っています。

12月で4回の屋根の雪下ろしは今まで経験  
したことがないと、皆さん言われています  
。



仮設も毎日道路が凍り、つららがのれん状  
態です。



つづき

つづき



12月は、島根県よりクリスマスケーキをもって、真っ赤なサンタさんが来てくれました



変わりどころで、黄色いサンタもプレゼントをたくさん持って来てくれました。おじさんありがとう！



住民の方々で大根漬けもしました。

落語やバルーンショーなど楽しい催し物をして下さった徳恩寺のみなさまにも感謝。

29日には、ソニー生命のみなさまが「いなりそば」を配って下さいました。

みなさまのお陰で、住民の方々は楽しいクリスマスや年末を過ごすことができましたと思います。

みなさまに感謝します。

## さいの神

---

### さいの神

2006/01/14 Sat 16:14 | posted by yamav

種芋原地区のみなさんによる「さいの神」が新陽仮設住宅で行われました。



雨にもかかわらず大勢の方が来られました。  
年男、年女の方による火入れが行われ、さいの神に火がつきます。  
今年は帰村を願って、山古志の方角へ入口を向けたそうです。

温かい豚汁が振舞われ抽選会もあり、とても和んだイベントでした。



燃え上がる炎にみなさんは何を願ったのか・・・  
私たちスタッフはみなさんの願いがかないますようにと願う。

今年も頑張ります！

---

今年も頑張ります！

2006/01/08 Sun 11:38 | posted by yamav

昨年の大雪に始まり、山古志では道路の復旧工事にも影響がありました。

集落によっては移転や集落再建の計画も確定されないまま新年を迎えました。

今年は帰村できる住民、公営住宅入居を希望してる住民、そして心の傷が癒されずに未だ悩んでいる住民の方・・・

そんなみなさんの一歩うしろから、後押しできるようなサポートができればと考えています。

そして住民のみなさんと共に、新しい一歩を踏み出して行こうと思います。

山古志を含め中越大震災で被災した各地の復興はまだまだこれからです。

これからもよろしくお願い致します。



## 雪も一段落・・・

---

### 雪も一段落・・・

あのドカ雪も小康状態になり、住民のみなさんもホッと一安心です。

仮設の周りにはこんな状態です。



向かい合っている玄関前は雪山の状態ながら、除雪機も入れず雪の捨て場所もないため、お年寄りは慎重な足取りで外出しています。



そして青葉台集会所の脇には、今年もブルドーザーで寄せられた大きな雪の山が。さて、この雪山が消えるのはいつ頃となるのか。

## 雛人形

---

### 雛人形

2006/02/03 Fri 15:20 | posted by yamav

2月3日は節分の日なのに豆もまかずに集会所へ雛人形を飾りました。

昨年、横浜の徳恩寺さんから頂いた7段飾りの雛人形。

今年も皆さんの目を楽しませてくれる事でしょう。

仮設では部屋が狭くて飾りつけが出来ないといわれる方が沢山いらっしゃいます。

集会所に飾ることにより皆さんが雛人形を楽しむことができます。

皆さん優しい顔でお雛様を見えています。

とても優しい良いお顔をしたお雛様ですから。



雛人形にまつわる昔話に華が咲いていました。

あと2ヶ所の集会所に飾る予定です。

## ゆきしか祭り準備

### ゆきしか祭り準備

2006/02/17 Fri 10:04 | posted by yamav

18日に行われる雪上鬪牛と雪蛍の準備にふたたび東洋大ボランティアのみなさんが活躍してくださいました。

今回の学生さんは6名で、今後も昨年の夏と同様、順次クールでボランティアに来てくださいます。



雪蛍のロウソク設置の穴を外側に約80個、中央に約80個、そして鬪牛場の内側に約50個・・・。



天候も悪く吹雪の中、スコップで長さを測り、最後には方程式で計算までして、みごとにできました。

東洋大のみなさん、どうもお疲れさまでした！  
！



## 雪上レクリエーション

---

### 雪上レクリエーション

2006/02/18 Sat 16:49 | posted by yamav

新陽仮設住宅（種苧原地区）の近くの空き地で住民のみなさんによる雪上レクリエーション（雪レク）が行われました。

天気はよかったですのですが風が強く冷たく、みなさんはお酒で身体を温めていました。

スタッフも誘われるがままに競技に参加しました。

「袋の中身はなーに？」

紙袋に入っているもの全てを食べつくす競技です。

ソーセージ、トマト、いよかん、キュウリ、グレープフルーツ、レモン、なす、たまねぎ、ゴーヤ、パック酒・・・

食べられないものは入っていませんが、生の野菜はやっぱりつらいものです。



終わった後に雪しか祭りの「雪中闘牛」のお手伝いに行きました。



午前中に雪山で遊んでいた家族連れも集まり、大勢の方が見物していました。

暗くなり始めると東洋大の皆さんが一生懸命作ってくれた雪蛭に火がともり、幻想的な闘牛場と変わりました。

## 新春お楽しみ会

---

### 新春お楽しみ会

2006/02/19 Sun 16:03 | posted by yamav

埼玉県日高市と入間市の有志のみなさんが『新春お楽しみ会』を開いて下さいました。



旧山古志村と小千谷市塩谷地区を舞台に一九七一年に撮影された「鯉のいる村」の上映もあるということで、集会所には沢山の方が集まりました。

昨年の山古志のカレンダーの表紙写真と今年のカレンダーの5, 6月の写真は代表者の方が地震前から山古志に入り撮影したものだそうです。

落語あり、歌あり、映画ありと盛りだくさん！



30年以上前に制作された「鯉のいる村」が上映され、山古志の風景や住民の方が出てくると集会所の中がざわざわと賑やかになりました。

住民の皆さんはみなさんととても楽しまれていました。

埼玉の皆さん本当にありがとうございました

### 東洋大ボラ除雪と親睦

2006/02/25 Sat 11:15 | posted by yamav

東洋大ボランティア、第2クールの学生4名による五日間の活動が終了しました。

かなりの重労働もあったと思いますが、みなさん笑顔で活動してくださいました。



高齢者の多く住む、東竹沢地区の仮設入口付近をメインに除雪作業をしてくださいました。

お年寄りが杖をつきながらソロソロと横歩きで降りる姿を見て、学生さんたちはどう感じ取ったのでしょうか？

最終日の午前中には歩きやすい歩道が出来ており、みなさんの頑張りから感じ取った事が伝わってくるようでした。

除雪の合間に集会所でのお茶会に参加。

「うちの孫によく似ているよ」などと言われ照れている学生さんも居り、微笑ましい場面もみられました。

こんな“交流”も大切にして欲しいと思います。



最後はみんなで「すりこぎ棒体操」をすることになり、事前に習っていた学生さんを中心に、ちょっとした体操教室と成りました。

いろいろな体験をして家路へ向かった第2クールのみなさん、今回の活動で感じたことを大切にしてください。

ありがとうございました。そして、お疲れ様でした！

## 竹沢地区雪上レクリエーション

### 竹沢地区雪上レクリエーション

2006/02/26 Sun 13:54 | posted by yamav

種芋原地区の雪レクに続き、竹沢地区の雪レクが仮設近くの丘陵公園で行われました。



朝は雨が降り中止かと思われましたが、開始時間少し前に雨もすっかり上がりました。子どもから大人まで約40名が参加しての楽しい雪上レクリエーション。

青チームと赤チームにわかれてのチーム対抗戦。

固まっていた雪が朝の雨で融け始め、足元がとられるというのに子ども達はまるで雪の上ではないくらい元気にはしゃぎ走り回っています。



しかし大人はもうヘトヘト・・・ボラセンスタッフも全種目に参加してクタクタです。今回は青チームの勝利で終わりました。

終了後は集会所でとん汁と、なんと三重県から送られてきたイノシシ肉を使ったイノシシ汁が待っていました。

賑やかな雰囲気の中、熱々のとん汁とイノシシ汁でお腹の中から温まったようです。



イノシシの肉と言われなければ豚肉のような食感と味でした。

今まで行われていた地元の行事を行うみなさんの力強さ、そして住んでいる人が地元行事に参加する事の大切さを感じました。

来年は山古志で開催する事がみんなの思い、私たちの願いです。

## パワー全開チーム！！

---

2006/03/08 Wed 16:41 | posted by yamav

東洋大は、第4クールへと引き継がれ、4名の女性ボランティアさん達です。



今回も仮設でのお仕事となり、イベントの炊き出しや、雪蛍を作るお手伝いをさせていただきました。

昨年の夏に出会った学生さんもいて、私たちスタッフとはすぐに打ち解けたのはもちろん、住民の方達といっしょにひまわりの種の袋詰め作業をしたり、ネットアートの修正に現場まで駆けつけたりと、間接的ではありますが、さまざまなボランティアをしていただきました。

本当にありがとうございました。また来ていただける時にも、その明るいパワーを持ってきてくださいね！！お疲れ様でした。

## ～神戸からのエール～ うたのかけはしゴスペルコンサート

---

～神戸からのエール～ うたのかけはしゴスペルコンサート

2006/04/30 Sun 10:14 | posted by yamav

関西を中心に活躍されているゴスペルグループ「Supiritual Voices」さんが中心となって、神戸だけでなく、大阪や京都のゴスペルクワイヤも多数加わった約160名の方々に、地元長岡のゴスペルクワイヤ、山古志中学校の生徒さんもあわせ総勢200名を超えるゴスペルコンサートが、山古志仮設住宅近くの長岡市立青葉台小学校体育館で開催されました。

元気を取り戻した神戸のいま姿を、同じ痛みを乗り越えようとしている長岡で元気なゴスペルの歌声に乗せて伝えてもらいました！ 『オーハッピーデイ』をはじめ、阪神・淡路大震災の時に歌われていた『しあわせ運べるように』の歌詞を新潟に変えた歌は、避難所のときに励まされたもので、それぞれの思いがつながり、会場が一つになったような、コンサートでした。



## 『越後 牛の角突き』開催

### 『越後 牛の角突き』開催

2006/05/06 Sat 13:57 | posted by yamav

今年最初の山古志の闘牛大会が開催されました。

まだ東山ファミリーランドの仮設闘牛場での開催ですが、2500人ももの来場がありました。

会場の盛り上がりをお伝えします！



今年最初ということで、牛たちが角突きをしてくれるのか心配されていましたが、ご覧のように見応え十分！

闘牛の牛と言っても、普段はおとなしく、優しい目をしています。しかし、「勢子（せこ）」の「よしたーあっ！！」の掛け声で角突きが始まると眼は真っ赤に燃え上がり、ごつーん！という凄まじい音とともに角を合わせます。人間の相撲と同じように、がっぷり

よつで動かず、しのぎを削る場面になったかと思えば、相手の呼吸の隙をついて一気に押して出るので眼が離せません。牛は全力を出そうとすると、尾っぽがピンと立ち上がってきます。見ているほうもグーッ！と力が入る醍醐味の瞬間です。

以前のブログでお知らせしたように、山古志の元気な様子が少しでも多くの人達に伝わるように、仮設で育ったプランターで花文字を作り、闘牛会場を彩りました。

We? 山古志

「沢山の元気をもらった山古志は、これからもっと元気になります！」

さあ、いよいよ本日の大一番！VCごひいきの横綱「孫兵衛」の登場です。伝わるでしょうか？

本当に姿の良い大横綱なんです。

勝敗は！？...っと聞きたい所ですが、山古志の闘牛では決着がつくまで角突きをさせません。

手塩にかけて育てた家族のような牛が、必要以上に傷つくことを望みませんし、同じように、相手の牛が傷つくことも望みません。牛飼いの本気、牛の本気、それを受けとめる勢子の本気が、そこにあることを感じます。

次回の『越後 牛の角突き』は、6月18日（日）です。山古志の本気を味わいに来てくだ

さい。

興味のある方はお気軽に山古志VCまでお問い合わせ下さい。

## マリの子供が生まれました♪

マリの子供が生まれました♪

2006/06/10 Sat 20:19 | posted by yamav



山古志のマリでお馴染みのマリが、仮設で無事に出産しました。

可愛い写真をいっぱいお届けします！

白いほうがダイ君、黒いのはミミちゃんです。



いつも仲良しのマリですが、産後で気が立っているようで、今はあまり近寄らずにそっとしてあげています。

がんばれ、お母さん！

本当にカワイイっ！！

でも、二匹とも貰い手は決まっています。残念

...

元気に育ってね。

2006/06/17 Sat 10:19 | posted by yamav

先日、支所のかたと種芋原へ入りました。



作業のあい間に寺野地区へ進み、現在の復旧作業の様子を見ることができました。

一つの山が完全に崩れ、山肌には『のりわく』というコンクリートが吹き付けられ、昔の面影すらなくなった山の姿は、これから生活する新しい山古志の景色としてみなさんの眼に映るのでしょうか・・・。

工事車両以外通行止めという砂防ダムを見せていただきました

道のすぐ脇には、撤去されずに残っている無残な姿の車が・・・。



上から見下ろすと、芋川が堰き止められ大きなダムに変わっていました。

寺野地区 砂防ダム 2

上から見下ろすと、芋川が堰き止められ大きなダムに変わっていました。



この秋には住民が戻り、それと同時に子ども達の学校が再開されます。

その交通手段として、種苧原と三ヶ地区を結ぶ道路が着々と進んでいます。被害にあった旧道路は、現在でも寸断されたままの辛い姿を残していました。

その新しい道路のそばには、わずか3ヶ月しか使っていない真新しい水道タンク小屋が……。ひっそりと横たわる姿は、復興を重視する意味をまじまじと思い知らされた光景でした。



雪解けと共に始まったばかりの復興に、わたしたちは何のお手伝いもできませんが、住民のみなさんが無事に山古志へ、復興住宅へ、新しい土地へと移られる時のお手伝いできればと考えています。

そして、以前のような人情のある山古志地域になるように、コミュニティー再生の基盤作り

をサポートできるように頑張っていこうと思います。



7月4日の虫亀診療所の再開に引き続き、種芋原診療所が7月6日に開所式を迎えました。

地震前から老朽化のため新築が進められていた種芋原診療所が念願の開所を迎え、待ちわびていた住民の方々が本当に大勢集まられていました。

今後、虫亀診療所は火曜日、種芋原診療所は木曜日、そして、まだ大部分の住民の方が生活している仮設住宅では、月・水・金曜日に診察が行われます。また、残りの竹沢診療所も

9月に再開予定です。

診療所医師の佐藤先生は村医として山古志のために生きてこられた方で、「おらは佐藤先生にしか診てもらわねんだ。」と住民に慕われる人柄の先生です。自らも被災者であるにもかかわらず、被災直後から避難所を回り、仮設住宅では診療所と往診と、住民の命を守ってこられました。私たちボランティアセンタースタッフにも、今後どのような見守りが必要となってくるのかご指導いただいております。

佐藤先生は山古志になくてはならない方であり、診療所が山古志で再開した事は山古志に帰る希望の光です。

希望の光のあとに載せる事をためらった写真ですが、生活を支える「足」となるバス停の写真です。



これもまた現実であり、まだ中越大震災は終わっていません。

山古志災害ボランティアセンターでは、山古志で生活する住民のニーズにも柔軟に対応するため、山古志地域専用の電話窓口を設け、訪問によるニーズ掘り起こしと合わせて、気軽に連絡できる周知を行っています。

まだ、家財道具の片付けに手を付けられずにいる住民もいました。こちらが引っ張らない、

全部は片付けない。

「後は自分でやれる！」と踏み出せる所まで背中を押して一緒について行く。

そんなお手伝いを改めて大切にしたいと思います。

2006/07/17 Mon 16:12

いつものお茶会を利用して、8月12日開催の「盆踊り大会」に向けて盆踊りの練習が熱心に行われています。

当日は山古志の「山古志音頭」「ヨーヨーサ」に加え、「長岡甚句」も踊る予定です。

「踊ると足がよく動く」「腰も動いた」と、元気のよい声が飛び交っていました。みんな張り切っており、今から大会が楽しみです。



「長岡甚句」を踊るのは初めての方が多く、地元の「踊りの先生」に教わりながら、一生懸命練習していましたが、最後は「踊りの輪」もでき、意気もぴったりと合っていました。

特に地元の「ヨーヨーサ」は素晴らしいものでした。

山古志でも、皆で大きく美しい輪を作る日が早く来ることを願っています。

## 「山古志地域大盆踊り」に 中学生が参加へ

---

「山古志地域大盆踊り」に 中学生が参加へ

2006/08/01 Tue 15:25 | posted by yamav

長岡市の中学生が山古志の応援にかけつけ、お茶会などで住民との交流を深めました。

8月12日越後丘陵公園で開催の「山古志地域大盆踊り」の練習にも参加してもらい、本番に向けて山古志の人達も、若い力を得てますます元気にはりきっており楽しみにしています。



初めは緊張していた中学生も、大きな笑いとともにより山古志の人達と打ち解けて、踊りも大きな輪ができました。

「人と人とのふれあい」の大切さをお互いに学んだ、大事な時間の過ごすことが出来たと喜んでいました。8月12日がますます楽しみです。

# 山古志地域大盆踊り大会

---

## 山古志地域大盆踊り大会

2006/08/13 Sun 11:48 | posted by yamav

昨年に引き続き今年も丘陵公園臨時駐車場で、「山古志地域大盆踊り大会」が行われました。朝の雷と雨には心配しましたが、盆踊りの準備を始めるとともに太陽が出始め、暑い午後となりました。

今年はボランティアセンターでフランクフルトとストラックアウトの景品付きミニゲーム。ソニー生命有志の皆さんによる、焼そば、わたあめ、ポップコーン、ヨーヨー釣りと祭りらしい屋台が並び、盆踊りに来ていた方達が踊る前にまず腹ごしらえ、ひと遊びとテントの前に列を作っていました。



越路と見附の太鼓チームによる迫力のある演奏を聴き、祭りの気分も盛り上がります。



山古志の住民の方からぜひ「長岡甚句」を踊りたいという声があがり、まずはボラセンスタッフが覚え、そして、週1回、各集会所で行っているお茶会で住民の皆さんに教えました。

でもやっぱり最後は山古志の「ヨーヨーサ」で1時間程踊り続け、踊りの輪が二重にも三重にもなり、大変盛り上がり賑やかな盆踊りとなりました。

皆さんの協力で無事に大成功となりました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

有難うございました。

『自分達の村へ帰ろう！』住民たちは中越大地震からの復興、長岡市への合併、さらに市制100周年と激変する山古志の空をみながら、同士とのつながりを再生しつつ、みんなで復興の“のろし”をあげよう！！と立ち上がりました。

準備は13日のお盆道普請から始まり集落内清掃、神社境内清掃及び飾りつけ、闘牛場片付けと流れて行き、役員、住民、ボランティアがひとつになり「協働」という大きな仕事を成し遂げました。



14日には、虫亀婦人部の方々による“ご馳走振る舞い”の準備から始まり、盆踊り会場作り、食堂街テント張り、本番に向けてのコカリナ、ミュージカル、写真展などさまざまなイベント準備におわっての1日となりました。

さて、復興祭当日になりました。慰霊碑復興の意味を込めて、諏訪神社において大久保地区に古くから伝わる神楽舞が奉納されました。引き続きすぐ下にある闘牛場では、3歳牛による角突きが披露され、大人顔負けの迫力にギャラリーも興奮ぎみ・・・。

夕方には森市長と地元の長島議員も

訪れ、ミュージカル、コカリナなどを楽しみ、あたりが真っ暗になったころ、いよいよ大イベント区民全員参加による大盆踊り大会の開幕となりました。

夜を徹して、ちから尽きるまで踊り明かしたそうです。

まさに“甦れ！山古志！”の声が天まで届いたような、力強い復興祭の幕は閉じました。役員のみならず、関係者の方々、本当にお疲れ様でした。

2004.10.23 17:56 地震発生



忘れることの出来ない日より、山古志は全国・世界中の皆様より沢山の元気を頂きました。この「感謝」の気持ちを、山古志が元気になっていく姿を皆様に見ていただくことで、少しでもお返ししたいと思います。

詳しくは続きをご覧ください...

いよいよ長岡市役所山古志支所（旧山古志村役場）が、山古志でのすべての業務を再開します。まだまだ、仮設住宅での生活を余儀なくされる住民の方も大勢いられますが、行政が山古志に帰るということは、山古志復興の大きな一歩になることでしょう。

そこで、9月1日午前8:30～の『山古志支所開所式』が行われた後、ご支援を頂いた皆様に向けて『感謝の集い』を開催します。VCスタッフ・山古志支所職員・山古志住民からの豚汁のふるまいなどを予定しております。山古志を実際に見に来て下さい。

※『感謝の集い』には多くの方に参加していただきたいと思います。しかし、山古志は交通規制がかかっており、許可書なしでは通行できません。参加ご希望の方は必ず前日までにご連絡下さい。

山古志災害ボランティアセンター

TEL 0258-46-8859

FAX 0258-46-8837



## 念願かなった！！『ありがとう』の一杯

念願かなった！！『ありがとう』の一杯

2006/08/31 Thu 16:47 | posted by yamav

東竹沢地区梶金集落、みごとなはすの池を持つ藤井チセさん（70）のパワー全開の1日に参加させていただきました。

中越地震で寸断されてしまった国道291号線に新しく“山古志トンネル”の完成をむかえました。竹沢地区と梶金地区とを結ぶ山古志の中心的な幹線道路に携わってくださった工事関係者のみなさんに、『ぜひ感謝の気持ちを』と、トンネルの両入口で熱々のきのこ汁を振る舞いました。



この企画は、チセさんがお一人で以前から考えていたことで、単独ではとても無理と気づき、ボラセンスタッフに協力要請がかかった訳です。この日は、東洋大ボラも参加させていただきました。



炊き出しはチセさん宅の取り壊し跡地で、薪を割る作業、湧き水を汲む作業から始まり、自分の畑で取れた野菜や、チセ・オリジナル隠し味などを入れ、約100食分のきのこ汁が完成となりました。

## 念願かなった！！『ありがとう』の一杯 2

### 念願かなった！！『ありがとう』の一杯 2



工事関係者の方々の美味しそうな笑顔、そして思いがかなったチセさんの心の奥には、2ヶ月前に亡くなったじいちゃんが、帰村を楽しみにしていたこと、新しい道を見せてあげられなかったこと、そして何といてもみんなの嬉しそうな顔を見ることが大好きだったじいちゃんを思い浮かべながら、真っ青な山古志の空を見上げ、目頭を熱くしていました。山古志再生にちからを貸してくださった方々に、お礼をしたいという素直な気持ちを、現実にしてしまうチセさんはすごい！！

“山古志のかあちゃん魂”をみせてもらいました。

チセさんお疲れ様でした。

## 山古志支所業務開始

---

### 山古志支所業務開始

2006/09/01 Fri 17:12 | posted by yamav

中越地震後、山古志役場から一変し、長岡市山古志支所という名前に変わり、約1年10ヶ月ぶりに行政機能が復活されました。



前長島村長の『2年後の帰村』という目標を、完全に成し遂げられたことも、多くの方々のお力添えがあったからこそその事業計画だったと思います。住民たちの『安心』がまたひとつ増えました。

しかし現状は、まだ2割りの帰村率でしかなく、年内にはかなりの方が仮設を後にすると考えられます。

帰村される方々の、今後の支援、コミュニティー再生を考えるのはもちろんですが、いまだに非難解除されない5集落のみなさんの思いは、帰りたくても帰れないという、重くのしかかった現状に、あとどのくらいの“がまん”を費やせば安住地に移れるのか・・・。

私たちスタッフもその心境を思うと、かける言葉すら見つかりません。

しかし、着実に復興しながらも変貌してゆく山古志に、全住民の思いは、それでも“山を守る！”という強い気持ちを持っているのでしょう。

## お詫びと、お知らせ

---

お詫びと、お知らせ

2006/10/06 Fri 16:09 | posted by yamav

都合により、ブログの更新がとまっており、ご迷惑をおかけ致しました。ネット環境の整備が整いましたので、溜まりに溜まった山古志の近況を随時更新していきます。コメントを頂いた皆様、返信が出来ずに申し訳ありませんでした。

また、山古志災害ボランティアセンターのメールアドレスを変更いたしましたのでご確認下さい。

yamakoshi-vc@festa.ocn.ne.jp

現在、山古志住民約600世帯のうち、およそ350世帯が仮設住宅で生活をされています。14集落のうち、6集落はいまだ山に戻れません。みんなで山古志に帰るには、まだまだ時間がかかりますが、全国の皆様から頂いた元気で、山古志がこれからもっと、もっと元気になっていく姿に注目して下さい。

## 『10. 23 山古志仮設住宅追悼式』

『10. 23 山古志仮設住宅追悼式』

2006/10/28 Sat 13:11 | posted by yamav

2004年10月23日17時56分。忘れることの出来ないこの時から2年が経ちました。

そして、2006年10月23日17時56分。山古志地域では住民の努力と全国からのご支援のおかげをもって、ライフライン・インフラの整備も進み、行事のほとんどが山古志で行えるようになりつつあります。しかし、一方で住民の半数は仮設住宅での生活を強いられているのが現状です。

ボランティアセンターでは、住民それぞれの想いのなかで“この時”を心穏やかに迎え、気持ちをあらたに日々の生活を過ごして頂けることを願って、住民、行政、ボランティアなどと協力して、陽光台仮設住宅で追悼式を企画しました。

雨の心配された当日でしたが、天気にも恵まれ、会場設営を行いました。献灯・献花台など、手作りの追悼式という感じですが、住民、行政、ボランティア、他にも様々な方々からご支援を頂き、協力し合っこの日のためにつくりあげました。

17時になり、住民の皆様の参列は300人を超える程でした。

そして、住民代表による献灯で開式です。



引き続き、住民により200本の献灯と献花が行われました。また、山古志住民の菩提寺の皆様と、近隣寺院の皆様に宗旨・宗派を超えてお集まり頂き、20名のお坊様から読経を頂戴しました。「自分の家のお寺さんが

来てくれんなした。」と、目を潤ませていた方もいて、このお勤めは住民にとって大変心強いことでした。

風が強く、ろうソクの炎が消えてしまうことを心配しましたが、集まった皆の想いの強さでしょうか、消えることなく燃え続けました...

17時56分 黙祷

静まりかえった仮設住宅、ろうソクの炎に照らされた表情には、私たちに量り知ることを許さない程の真剣な想いがありました。

その表情に、住民の想いを傾聴し、一緒に悩んでいくことの難しさと大切さを感じています。



震災後、仮設に入居すると同時に、猫達は去勢や避妊を義務づけられ、増えることはありませんでした。その後も生き延びて、飼い主さんの元へとようやく帰ってきた猫達もいます。そんな猫は去勢、避妊の処置をしないまま現在に至ってしまいました。この親もその一匹です。

この仔たちは8月生まれで3ヶ月になりました！！

飼い主さん宅は、他にもたくさんの猫達がいる、山古志へ帰って飼ってあげたい・・・との思いです。しかし、まだ避難解除されず、2回もの冬を越さなければなりません。狭い仮設住宅ではどうしようもないのです。

明日（15日）に、やむなく動物保護センターに引き取ってもらうことになりました・・・。水曜日は『引き取り日』と『里親探し』の日で、一般のみなさんにも観ていただけるそうです。

“ペットにも生きる権利があります”

『尊いいのち』を無駄にしないように、みなさまのご協力をお願いいたします！！

2006/12/12 Tue 13:15

12月9日（土曜日）青葉台山古志応援団と仮設住民の懇親会が行われました。

今年も田植え・稲刈り・モニュメントの建立等、仮設住民とのふれあいを大切にいただいた青葉台山古志応援団のみなさんと「横断幕掲載」の作業の後に、自家栽培のもち米で餅つきしたり、山古志のそば名人の手打ちで「そば・うどん」がふるまわれ、今年の反省と来年度に向けて語り合い、懇親を深めていました。

青葉台山古志応援団のみなさんの温かいふれあいが、大変ありがたく感じられました。



春に田植えをやり、草取りそして稲刈りとなりました。

収穫の喜びをみんなで実感しました。



メッセージタイルを貼り、フェニックス像の復興モニュメントが青葉台さくら公園に設置されました。

青葉台と山古志仮設住民との友情の絆は永遠です。





古志に待望の罹災者公営住宅が3箇所にできました。

竹沢地区、桂谷地区、そして種苧原地区・・・杉の木を使ったとてもすばらしい日本家屋です。



19日に復興推進室と森市長による鍵の譲渡式が行われ、安堵と明るい表情に包まれたみなさんの顔は、これからの再出発に向けてとても輝いて見えました。



公営住宅の窓から見える景色は、昔の面影のある棚田と澄み切った空が一望できる心落ち着ける眺めでした。



そんな中、いよいよ引越しの始まりです。

狭い仮設ながらも、かなりの荷物に本人もびっくり・・・！！

『もう、引越すことはないからゆっくり片付ければいいんだよ』と言ってるそばから箱を開けていました。



待ちに待った“ふるさと”に帰ったみなさん・・・

少しずつ、少しずつ自分のペースを取り戻してください。



山古志地域では地震以来「希望の鐘」（浄土真宗本願寺派 様よりのご支援）に復興の願いを込めて年越しを迎えてきました。

2006年は青葉台、新陽にあった仮設住宅が陽光台に集約されたことに合わせて、陽光台に希望の鐘を設置し年越しを迎えることとなりました。



普段なら年越しは家族で過ごすものですが、仮設入居世帯数が約600世帯から約200世帯になった現状では、皆で集まれる場所があってもいいだろうと、住民有志の方々を中心に実行委員会を立ち上げイベントを企画しました。

茨城から頂いた「そば粉」を使い、年越しそば打ちをしたのですが、やはりいました『山古志そば打ち名人』!! 2週間以上も前から「かえし」（つゆの醤油）の仕込みをしてスタッフにもそば打ちを伝授していただきました。当日も先生として活躍していただき、住民の皆さんと一緒に300食近い年越しそばを打ちました。



そば打ちの他にも、二年参りが出来るように神棚を設置し、おみくじ・御神酒・あまざけ・お餅と、200名を超える住民が集まり正月気分を楽しみました。

また、いつもお世話になっている長岡ニュータウンの皆さまにも声をかけて、手打ちそばを召し上がっていただきました。



和気あいあいと楽しいひと時を過ごし、24：00には「希望の鐘」の前に集い、住民代表の年頭の挨拶がありました。

仮設住宅での生活を強られる方々や、山古志に戻られた方々、いまだ様々な不安を抱えていらっしゃると思います。それでも2007年が皆さまにとって、山古志にとって実り多い年になることを願ってやみません。



このイベントには多くの方々からご支援をいただきました。

浄土真宗本願寺派 様  
（有）坂野軽工業 様  
鷹取商店街振興組合 様  
鷹取東復興町づくり協会 様  
金峯神社 様  
関原酒造株式会社 様  
千葉県松戸有志 様

この場をお借りして、こころより御礼申し上げます。



新潟を訪問中の安倍晋三 内閣総理大臣がハードスケジュールの合間をぬって陽光台仮設住宅を訪問、避難生活の続く山古志地域住民を激励されました。

総理がお越しになるということで、先に山古志に戻られた住民の方々も駆けつけ、お出迎えしました。

晴れ渡る青空の陽光台仮設住宅に総理の到着です。



長岡市長と長島議員（旧山古志村長）に仮設住宅を案内され、出迎えた住民と気さくに握手を交わされていました。

さらに、急きょ路上での激励の言葉もいただくことができました。



場所を山古志災害ボランティアセンター内の集会所に移して、山古志住民と膝を交えた懇談が行われました。



避難生活の続く住民からは住宅・農地再建の問題、山古志に戻っている住民からも今後の地域再建の問題が

話されました。これらの話を聞くたびに山古志の復興はこれからが正念場だと感じます。

総理からも、「新潟県中越地震の被災地の皆さんが今年の正月は自宅で迎えることが出来るよう、全力で支援をします。」との力強い言葉をいただきました。



総理は、ボランティアセンタースタッフにも「頑張ってください！」と一人ずつ握手をしてくださいました。

頑張ります!!!

4月1日（日） 午前9時

池谷、大久保、檜木、木箆、梶金・・・『避難指示解除』

これですべての山古志地域14集落の非難指示が解除されました。



待ちに待った日・・・5集落141世帯に“希望の明日”が見えてきました。山古志支所前には、『復興への集い』と題して森市長をはじめ、長島議員、各集落の区長そして多くの住民が集まりました。

2年5ヶ月に渡る中越地震との格闘が、目指す明るい未来へと変わりつつあるそんな一日でした。



これからは誰の目も気にせず、自由に山へ戻り、山で暮らし、山で田畑を再生できることとなります。住民にとって、この日をどんなに待ちこがれ、どんなに悔しい思いで仮設生活を過ごされてきたことでしょう。

しかし、非難指示解除と発表される反面、集落移転する檜木、木籠地域、集落再生する大久保、池谷、梶金地域の人々にとっての住宅再建はこれからが正念場です。

全国の支援者の皆様に対して、新たな山古志を創ることがなによりの恩返しかと思います。



子ども達の力強い鬨牛太鼓でエネルギーを蓄え、のぼりのメッセージで新たな自覚を持ち、懸垂幕で復興を誓う・・・。

そんな山古志魂を持つ住民にとって、自分達の山が2年5ヶ月ぶりに戻ってきたという安心感に、その日の晩酌はいつになく美味しかったことでしょう。

山が動き、道が裂け、棚田が落ちたあの山古志が、この日は何事もなかったような穏やかな時間が過ぎて行きました。

私たちスタッフも今後、高齢化の進む山古志住民の見守り、コミュニティ再生にどのような形でお手伝いができるのか・・・

どこに力を入れれば住民の安心に繋がるのか・・・

今まで以上に頑張っていかなければ、という強い目標が再確認されました。



この日もたくさんのおばあちゃん達がお茶飲みに来てくれました。

非難解除されたといっても、まだまだ仮設からは引越しが出来ない・・・

そんな地区のみなさんたちですが、週に一度のお茶会が唯一の楽しみ！というばあちゃん達。手に手に自作のお茶うけを持って来てくれました。





あんころ餅、キムチ、ごま豆腐、漬物・・・

たくさんのお惣菜がなりました。このお茶会はいつもこんな感じにさまざまな独自の味が並びます。

『こんなの作って見たんだけど、どう？』

『この味付け、何が入ってるの？』

みなさんいろいろな味を覚え、さらに我が家自慢のお惣菜が出来るに違いありません。

スタッフもこのお茶会は楽しみで、まちがっても欠席なんてことはありません！

ばあちゃん・・・またあの漬物持ってきてね～

## 《やまこしのわんこ ②》



年 齢：7歳

名 前：タゴ（田吾作からとりました）

性 別：♂

性 格：おとなしくほとんど吠えない

種芋原で育ち、現在は仮設住まい

2ヶ月半ほどご主人と愛知県へ行っており、先日帰って来ましたが、今月中には新居（長岡市内）へ引越します



2008年正月映画として全国東宝系で公開予定されている、『マリと子犬の物語』が陽光台仮設にて、感動のラストシーン撮影が無事終了いたしました。

中越地震の朝、三匹の子犬を出産そして大きな揺れ、タンスの下敷きになったご主人を勇気付け、エサもなく置き去りになってしまった母親マリが懸命に子犬たちを守り通した・・・感動実話の映画撮影が順調に進んでいます。



仮設撮影ということで、早くから住民にエキストラの声かけやお願いをしてきました。当日は助監督さんの説明から始まり、

『おとうさんは、そこからまっすぐに歩いてください』

『おかあさんたちは、おしゃべりしながらゆっくりと前へ・・・』

『ボクは、走ってここまで来てくれる？』

最初のシーンでは8回目ようやくOKのサイン！！

住民のみなさんもホッと一安心の様子でした・・・

カットの原因は主人公のわんこたちの『もう、あきちゃったよ～～』の行動にあったそうです。



子役の女の子が強風のため転んでしまい、突き指をしてしまうという  
予想外の展開もあり、マリの本当のご主人（じいちゃん）が窓から  
撮影現場を眺め、当時を思い出し涙する場面も見受けられました。



わざわざ山古志から駆けつけてくれた住民のみなさん、予定を変更してまで協力してくれた仮設  
のみなさん、本当にお疲れ様でした！

めったにない貴重な経験をして、また思い出のページが増えましたね！

それにしても撮影って、大変なんだなあ～っとつくづく感じました。

約70名からの東映スタッフさん、ホントにお疲れ様でした！！

《やまこしのわんこ ③》



年 齡：12歳

名 前：志乃（しの）

性 別：♀

性 格：人なつこいが仔犬の頃、大きな犬に“はがい締め”にされて以来  
犬の嫌いなわんこになってしまった・・・

特 技：『おやすみ』と言うと目をつぶる



震災以来、山古志住民の心を支えてきたヒマワリを、ご来場の皆様にもお届けします。

↓

『長岡市花いっぱいフェア2007』

- 日 程 平成19年5月26日（土）～5月27日（日）
- 会 場 千秋が原ふるさとの森、おぐに森林公園（小国サテライト会場）
- 事務局 TEL 0258-39-2230（長岡市公園緑地課内）  
URL <http://www.city.nagaoka.niigata.jp>

神戸から届けられた復興のヒマワリは、山古志に根づきました。



去年は、まだまだ仮設住宅で育てることしかできませんでした。それでも、「山古志サンフラワー」が中心となって育て、大輪の花をつけ、秋には大粒の種を収穫することができました。



このヒマワリの原産地は南フランスのアルル地方です。絵画「ゴッホのひまわり」のモデルになった歴代種で、仏名はソレイユ・サンプル・ゲランと言います。そしてヒマワリは、「山古志ゴッホ」と名付けられました。雪深い山古志の土地で育つ“太陽の花”のイメージにぴったりではないでしょうか？



ご存じのように、平成19年4月1日に山古志地域の避難指示がすべて解除になり、これから本格的に住宅・生活再建が始まります。

本当は自分のことだけで手一杯なのでしょうが、今年～来年～ と、自分たちの住む土地に、「山古志ゴッホ」のヒマワリ畑を作ろうと頑張っています。

もう少し時間がかかりますが...

いつか元気になった山古志に遊びに来ていただいた際には、

沢山の“山古志の太陽の花”“山古志の笑顔”が皆様をお出迎えします。

この「山古志ゴッホ」を『長岡市花いっぱいフェア2007』の会場にて、全国に先行して、長岡で皆さんにご紹介し、今年の夏は「山古志ゴッホ」をご自宅で楽しんでいただけるように、苗を配布いたします。

13時頃には「山古志ゴッホ」を使ったサプライズも用意しています！！

お楽しみに♪

『長岡市花いっぱいフェア2007』では、魅力あるイベントを多数ご用意しております。

～咲かそう花を、育てよう緑を～

人と街をともに育み、豊かな心を育てましょう！多くのご来場を心よりお待ちしております。





5月12日（土）に、青葉台にて田植えがおこなわれました。  
昨年に引き続き、青葉台山古志応援団の主催により田植えがおこなわれました！  
青葉台山古志応援団のメンバーはもちろん、青葉台からの応援メンバー、  
山古志の住民と共に、我がボランティアセンタースタッフも田植えに参加しました。



写真を見ておわりの通り...今回の田植えは、全て手植えです！！  
手植えと聞いちゃあ～だまっていられないほどの、山古志手植えプロ集団。

ほいっ ほいっっ ほいっ

と、スピード・正確さは素人とは比較になりません。。。

田植え面積が1.5反（田んぼ2枚）あるにもかかわらず、参加した方々の大健闘もあり、ものすごい早さで田植えは終了しました。

あまりの早さにもびっくりしましたが、田植え後にやってきた筋肉痛！！にもびっくりしました…。

参加した他の方々も、今ごろ筋肉痛に悩まされているのでしょうか。

きっと、プロ集団だけはピンピンしていることでしょう。



田植えは無事に終了しましたが、これで終わりではありません。

田んぼを通しての人と人の繋がりや、地域同士の交流はこれからも続いていきます。

青葉台山古志応援団の方々がおっしゃっていたように、共に植えたお米で、

山古志の住民の方々が故郷に帰る時の、『お祝い』のお餅や赤飯がくれたら嬉しいですね。

★＝番外編＝★

《スタッフのわんこ 壱》



年 齢：3歳

名 前：マーくん

性 別：♂

性 格：ビビリ犬で、かみなりと知らないひと大嫌いわんこ

スタッフは何回も顔を合わせているのに、きちがいのように吠えまくられる。。。

オスイぬが大好きで、見つけると一目散で駆け寄るオカマ犬

特 技：3年目にして、やっと『おいで！』の意味がわかるようになった・・・！とご主人はご満悦？

（特技というより、ご主人という存在にようやく気づいて『なにかしたほうがいいのかぁ～』、と“身の危険”を感じ始めたんでは・・・？）



5月17日（木）に、田上町ボランティアセンターの方々との交流会がおこなわれました。今までにも、仮設の住民と一緒に漬物をついたり、採れたての竹の子を届けてくれた田上町ボランティアセンターの方々。

今年は竹の子の収穫が少ないにもかかわらず、仮設住宅が今年で最後ということで、貴重な竹の子を届けてくださいました。

毎週木曜日にお茶会をおこなっているC集会所。今日は採れたての竹の子を使っの昼食会です！！

採れたての竹の子を届けてくださった田上町ボランティアセンターの方々と一緒に、竹の子料理をつくり、春の味を堪能しました。



楽しく食事をしながら、昼食会のはじまりです。

改めて自己紹介をしながら、それぞれの想いと願いを語る田上町ボランティアセンターの方々。それに応えるように、近況とこれからの希望をはなす山古志の住民の皆さん。

田上町ボランティアセンターさんは、中越大震災時より復興支援として山古志住民の交流会を実施してくださっています。

震災直後の状況をと現在では、また違った悩み・不安を抱える生活の中で、「まだまだこれからだけれど、なんとか、ここまでくることができたよ」

という想いを、震災直後から支援してくださっている田上町の方々に伝えているように思いました。



このように、それぞれの想いを込めながら自己紹介をしていると、うれしいお話がとびこんできました。

このC集会所の管理人をしてくださっている、関さん（雅号：秀泉）。

20年以上続けているという書道で、『第四十七回全国展』で「秀逸賞」を受賞しました。

このことを知った住民の方が、関さんには秘密で花束を用意してくれました。

突然のお祝いに驚きながらも、目頭を熱くしながら、「この賞をいただけたのは、本当に皆さんのおかげです。

あの地震がなかったら、同じ山古志であっても自分の集落以外の方などは、こんな風に出会えなかった。あの地震で失うものはとても多かったけれど、その中での人との出会いを、財産にしていきたい。

この出会いがあったからこそ、今回の大会にも挑戦してみようという気になりました。

集落は集落同士などではなく、山古志全体で力をあわせていきましょう。」と、語っていました。

。



だんだんと少なくなっていく仮設の世帯数。

それに比例して、不安や悩みも少なくなっていくわけではありません。

復興への新たな段階に入り、新たな問題点や悩みもでてきます。

地震を機に、さらに高齢化が進んだ山古志で、どのように地域づくりをおこなっていくか。

関さんの言葉の中にもあったように、これからは集落ごとではなく山古志全体での地域づくりをおこなっていくことが重要となるかと思えます。

いろいろな方法があるかとは思いますが、今回の田上町ボランティアセンターさんの支援のように、食を通して人々が集まる機会をつくる。

このことで、山古志と他の地域の交流を深めるだけでなく山古志の住民間の交流も深めることができます。今回のような機会を設けることで、今後の山古志での地域づくりを一步一步進めていければと思っています。

関さんの作品は、新宿センタービル5 1階、朝日生命ギャラリーサンスカイルームにて6月7日（木）～10日（日）の4日間展示されます。

七段以上の腕前をもつ方々の作品も展示されるとのことです。

ご興味のある方は是非、足を運んでみて下さい。

★＝番外編＝★

《スタッフのわんこ 参》



年 齢：7歳

名 前：ムク

性 別：♀

性 格：おとなしいが犬らしくないわんこ。。。

犬といえばお肉が大好きなのに、なぜか  
肉は嫌いで野菜を好んで食べるおかしなわんこ。。。  
おかげで皮下脂肪のまったくない、むしろ  
衰れさえ感じる、やせっぽっちのわんこです。。。

特 技：細いからだを武器に、障子のさんをくぐりぬけては

移動するイリュージョン的骨だけわんこ！！

壱万円札の味に魅了し、これまでにどんだけ食べたか  
計り知れない・・・

(ほかの札には興味なし・・・だそうで！)



6月11日（月）、B集会所にてレクリエーションがおこなわれました。

被災後、レクリエーション協会の方々には毎月仮設住宅の集会所にて活動をしていただいていたのですが、今回で一区切りとなります。

今まで続けてきていただいた活動の総括として、レクリエーションの意義や大切さをわかりやすく説明していただきました。



説明の後は...まちに待ったお茶会兼、昼食会の始まりです。

住民の皆さんが持ち寄った数々のごちそうは、目移りするほどの品数です。

手作りこんにゃくに、自家製アスパラ、ぜんまいの煮物、ふきの酢の物と煮物、きゅうりの漬物、水菜のおひたし、干した大根の煮物...と、書ききれないほどです！

さらに、レクリエーション協会の方々からいただいたおいし〜い鮭と果物で、テーブルの上は

ごちそうだらけです！！

「おいしい〜〜〜〜〜っ！」と、  
大食い選手権のようにもりもりと山菜のごちそうを平らげ、持参した超特大おにぎりもりもり食べていたレクリエーション協会の方。気持ち良いくらいの食べっぷりです！

また、今回特別に参加して下さった長岡市役所の小林均さんは、即興...！？で「山古志の唄」を披露してくださり、住民は大盛り上がり！



「最初の頃は、なかなか笑顔がでてこなかったよね。でも、今はこ～んな笑顔だもの！！」と、住民の笑顔が戻ってきたことが、なにより嬉しい事だとレクリエーション協会の方々はおっしゃっていました。

住民からは、

「これからも続けてもらえんろっかのう」

「山へ帰っても、レクリエーションを続けて欲しいや～」

との声が多くきかれました。

それほど山古志の住民にとっては楽しみであり、笑顔のもとになっていたのでしょう。

6月15日（金）から、総合集会所では地区を問わずに参加できる「お茶会」をはじめましたが、今度はこのお茶会で、住民全体に向けてのレクリエーションを継続していけたらと思います。

そして仮設住宅から山古志へ帰ることができた時には、このレクリエーションを機会に、山古志に戻った住民と山古志以外での生活をはじめた住民が気軽に立ち寄れる場になればと願っています。

## 『能登半島地震 応援ツアー』に行ってきました！

2007/06/26 Tue 10:01



3月25日 9時42分 マグニチュード6.9を観測した能登半島地震

中越地震の際にはたくさんのご支援、ボランティアをしていただいた温かいお心使いに、何かちからになれる事はないか・・・

そんな住民の声に山古志から代表20名の応援ツアーが計画されました。



このツアーの主旨としては、仮設住宅にお住まいの方や被災者の皆様には  
今後は長期的な支援こそが必要になってくるのかと思います。

しかし、今回のような一時的な活動でちからになれることは・・・

山古志仮設の住民が被災地を訪れ、観光地である能登に収益をもたらすことを目的とし、さらに  
観光PRを応援することで被災地の復興への自立につながれば嬉しいことだと思います。

そんな思いから企画したツアーです。



まず、初日の活動として能登空港での観光PRです。

輪島市長も駆けつけてくださり、激励のお言葉をいただきました。

輪島のはっぴと『まいもんまつり』ののぼり、さらに山古志のはっぴとのぼりを立てて、ゲートから出てくるお客様にパンフレットの配布・・・

『ようこそ 輪島へ！』

『山古志から応援に来ました！』

一段落した一行は、行政のかたのお誘いで空港内を見学させていただきました。離陸する飛行機を見て『あんなかたまりが空を飛ぶんだよね？いまだに不思議だ。。。』なんて、つぶやいている住民もいました。



さて、再びバスに乗り込んだ一行は、本日の宿『朱鷺の湯あなみず』へと向かいました。

旅の疲れを取るかのように、なが〜い入浴で語り合った裸の付き合いは、仮設のみなさんとのいい思い出になりました。



一夜明けて一行のバスは、ツアー一番の目的地『輪島の朝市』へ出発！

ここでも朝市組合長さん、専務理事さんからお出迎えしていただき、PR活動に参加させていただきました。朝市のパンフレットを配りながらも、

『あっ！きのう空港にいた人達だわ！』

『山古志に知り合いがいるので、気になってるんです！』

『ご苦労様です！！』

道行く人に声をかけていただき、この活動の達成感にちょっぴり浸りました・・・。

時間も少なくなり、みんなは大急ぎで買い物に物色。。

値段は付いても交渉しだいという話に、

『これ、4つ買うから安くしてよ〜！』なんて、さっそく交渉してる山古志住民でした。。。





午後からは、輪島市道下地区仮設住宅 150戸を訪ねました。

お土産のお茶とお手紙を添えて、山古志住民のみなさんは一軒一軒、お顔を拝見しながらの活動になりました。

本来ならば、仮設のみなさんに負担をかけないように、玄関先に置いていく

予定でしたが、やはり仮設暮らしの経験者として、心配になったのでしょうか……。お顔を見るなり『元気そうでよかった！希望の見える日が必ず来ますからね！！お互いに頑張りましょう！！』

震災を乗り越えて来た人達、そして震災を乗り越えようとする人達……

相互の会話のところどころに、同じ想いの接点を感じ取れました。

『慣れない仮設生活で、体調を崩さぬよう十分注意してくださいね！』

と言葉を添えて、仮設を後にしました。





最後は活動から離れてゆっくりと観光です。

《曹洞宗大本山 総持寺祖院》

このお寺は、修行寺としても有名で毎年数多くの修行僧が訪れ、宿坊にて生活しているそうです。

総持寺も被害に遭い、山門が落ちさらに座禅堂が近いうちに取り壊しになるほど被害が大きかったそうです。

《応急仮設住宅》	輪島市（4ヶ所 250戸）
	穴水町（1ヶ所 45戸）
	志賀町（2ヶ所 19戸）
	七尾市（3ヶ所 20戸）

合計 10ヶ所 334戸へ2台の車に分かれ、すべてにお茶と手紙を配布して来ました。

支援されてた側が支援する側の立場になったとき、こころの変化として、どう励ますべきか、どう会話したらいいのか・・・

力強い励ましの言葉を掛けつつ、当時のつらかった思いがこみあげてきては、いっしょに涙してしまった・・・ポツリとおっしゃっていました。

ボラセンスタッフも新たな活動に参加でき、仮設住民との絆もさらに太く、大きくなったと確信しています。

この経験を活かし、今後の山古志での地域興し、見守り、コミュニティーの《協働》につなげられるよう努力したいと考えています。

山古志住民のみなさん、活動おつかれさまでした！！

そして、輪島市、穴水町、志賀町、七尾市の各関係者のみなさま  
快く受け入れてくださり、誠にありがとうございました。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。



## おつかれsummer☆東洋大ボランティア！

2007/09/23 Sun 14:52

今年の夏も、8/6～9/22まで約1ヶ月半にわたり、東洋大の学生ボランティアさんにお手伝いをさせていただきました。

さまざまなイベントの準備や片付け、引越し、荷物運び、ボードウォーク作り、田んぼのヒエや草取りなど...

例年以上の暑さの中での作業にもかかわらず、大奮闘してくれました！

ほんの一部ですが、この奮闘ぶりをご紹介します！







震災当初から家屋の片付けや引越し、さまざまなイベントの準備等でお手伝いをしてくださっている

東洋大の学生ボランティアさんたち。

今年の夏は、総勢97人の学生さんが7つのクールに分かれ、入れ替わりでお手伝いにきてくださいました！

さまざまなイベントやお祭りの準備で、朝はやくから夜遅くまで作業が続く日もありましたが、その日の疲れもなんのその！！

翌日にはまた、元気いっぱいに活動していました。

クールによって活動内容はさまざまでしたが、日に日に日焼けし、たくましくなっていく東洋大生に

山古志住民の皆さんから、

『これ、学生さんたちに食ってもらってくれいや』と、差し入れをいただくことも多々あり

『毎日かぐら南蛮とスイカを食べてます。。。』

なんていうクールもあったほど！！

『秋には故郷山古志へ！』という思いで、日々奮闘している山古志の住民にとって、どんな大変な作業にも果敢に挑んでいる東洋大生の働きぶりは、あらゆる面で励みになったのではないのでしょうか。

山古志住民の皆さんの日々奮闘している姿が随所に垣間見えた今年の夏でしたが、そこにはいつも

東洋大生のあたたかいサポートがありました。

現在、陽光台仮設住宅では、引越しの準備に追われる住民の姿も多くみられるようになり、いよいよ約3年間待ち望んだ日が、近づいてきています。

熱い夏の活気とともに、実りの秋を運んできてくれた、東洋大の学生ボランティアさん。

本当にお疲れさまでした！！

### 【1クール】



活動の初日から、バーベキュー大会で夜遅くまで活動してくれた1クール！！  
膝をわって話しながら、すっかり山古志住民の皆さんと打ち解けていました！  
約1名倒れていた学生もいましたが...。。

### 【2クール】



自らの故郷でお盆を迎えず、山古志でお盆を迎えた2クール！！  
納涼会で、『へい！！っらっしゃ～～いっっっ！！！！』と威勢よく作ってくれたカキ氷は  
大好評でした。

### 【3クール】



果敢に小屋の解体をしていた男子チームとひまわりの種を一つ一つ丁寧に  
とってくれた女子チーム！！

3クールが作詞作曲したラップ調の『信濃RIVER（信濃川）』は、名曲です。

#### 【4クール】



大きな蚊と格闘しながら、ボードウォーク作りに参加していた4クール！！  
リーダーを支えるメンバーのパワー（とくに女子）は、すばらしかったです。  
あたたかい色紙、ありがとうございました！！

#### 【5クール】



祭りの準備に奔走してくれた5クール！！  
元気いっぱいのパワーで、お祭りを盛り上げてくれました！！

来年は、ぜひ相撲に参加してください！

### 【6クール】



稲刈りに、石拾いと炎天下での作業に元気よく挑んでいた6クール！！  
農家の嫁になれるほどの手さばきでした。  
動きやすいから...とピチピチした黒い服+軍手のリーダーの姿は、ミッキー!!  
と女子に大好評でした。

### 【7クール】



連日の外作業にも関わらず、ほんと~~~~に元気よく作業に挑んでくれた7クール！！  
最後の締めにあざわしい活躍ぶりでした！！  
スキー場から見た山古志の景色を忘れずに！！

トンカチさばきが職人並になったり、根元を見ただけでヒエと稲の見分けがついたり、  
男しぼりと女しぼりが完璧にできるようになったり、山古志の方言を使いこなせるようになったり...

すっかり山古志になじんでいた東洋大の学生さんたち。

学生時代の1日は、大人になってからの何週間分もの濃い1日です。

その貴重な1日が山古志で過ごしたことで、さらに価値ある1日になっていたとしたら嬉しい限りです。

今回の活動でそれぞれ体感したことを、是非これからの人生に役立ててください！

東洋大のみなさん！！

本当にありがとうございました！！

繋がった！一枚のタオル・・・

---

繋がった！一枚のタオル・・・

2007/10/04 Thu 11:28

先日、能登半島地震で被害に遭われ、穴水町仮設に入居されている住民のみなさんが陽光台仮設に来てくださいました。

しかも、手作りのおみやげを持って。。。。



穴水町との交流は、6月に山古志住民とともに訪れたことが発端で、その際に、おみやげとして一本のタオルで作った『も～まけねえぞう』を差し上げました。



この作品は、阪神、淡路大震災で『生きがい協働事業』としてスタートし、全国から寄せられたタオルで作られています。

山古志へ戻り、何かみんなのできることはないか・・・  
そう考えていた種苧原住民のおかあさんがたが立ち上がり、  
山古志にちなんで、闘牛の『面綱』をつけたゾウに変身しました！  
日頃の合間に集まりながら、現在もなお作り続けています・・・

この『も～まけねえぞう』を手にとった穴水仮設のみなさんは、山古志住民と同様に、“作ろう！”という衝動にかられたそうです。そして、さらにパワーアップした『ホットちゃん』をみごとに作りあげました！



手を拭いたとき『ホット一息』そんな気持ちになってください・・・ベビードレスを形どった、そのまま吊るして使える手拭です。仮設のみなさんへと100枚ものホットちゃんを持ってきてくださいました。みなさまのやさしいお気持ちに感謝いたします！

～阪神から山古志へ、山古志から穴水へ～  
一枚のタオルから創りあげられる発想豊かな商品は、全国のみなさまからいただいた温かいご支援に対し、なによりのご恩返しになるのかと思います。

穴水町仮設には、仮設住民のボランティアさんが常駐していて、現在の悩み、今後の進めかた、住民との繋がり・・・などなどの相談を受けたり、中越沖地震の被災地、柏崎への慰問の際に山古志仮設を訪れていただいたりと、温かい交流が生まれつつあります。

山古志仮設は現在でも、約90件ほどの住民が生活しています。震災3年目を迎える今月も、少しずつ引越しが進んでいます。ふるさとで暮らす目を目前に、住民のみなさんのさらなる我慢強さと、力強さ、そして地域を守る意志の強さを改めて伺え知ることが

できました。

穴水町仮設のみなさま、暖かい贈り物をありがとうございました！  
今後、寒さに向かい体調を崩さぬよう、くれぐれもお気をつけて  
お過ごし下さいませ。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。



仮設住民の心のよりどころだった畑が、いよいよ終盤を迎える時期に来たようです。

約2年半にわたりさまざまな野菜や花をそだて、みんなの交流の場でもあった『生きがい農園』は、コスモス、すすき、背高泡立ち草・・・とすっかり秋の装いになっていました。。。



仮設を退去し、帰村と平行して徐々に野菜づくりを山古志に移していった住民のみなさん・・・

当時は、クワも通らないほどの荒れた土を毎日毎日耕し、なんとか夏野菜に間に合うように苗を植えたのを覚えています。

家の畑は、土砂に埋もれてしまったり、さわへ落ちてしまったり、

難を逃れたとしても、交通の手段がなかったりと、とても山古志へ通ってまでは作業できない住民にとって、ほんとうに生きがいのある、楽しみのある場だったのではないかと感じます。



先日、仮設を退去されたじいちゃん、ばあちゃんが残っている枝豆の収穫にやってきました。『ムジナにやられてあんまりよくねえ～なあ』  
『もう少し通って、さといもとヤーコンを掘らねば・・・』  
まだ数件のかたが借りていて、秋野菜の収穫を残すばかりです。

ご主人の来ない畑に、しっかりと実を付けたきゅうりが残っていました。



山古志住民にとって、畑とは生活の基盤であり、支えであり、安らぎでもあるのです。ベト（土）に触れ、大地の恩恵を受けながら、さまざまな野菜を作りそして長い冬にそなえ保存食へとさらに手を加える。。。

じいちゃんばあちゃんのハツラツとした顔は、ここから生まれてくるにちがいないのです！



あずきの収穫を終えたばあちゃんも、もうすこしで山古志に創られる  
公営住宅に引越しです。

最後の最後まで野菜を大切にする山古志住民・・・

仮設前の畑は、現在もみんなに見守られ、わずかな実りを楽しませて  
くれています。。



10月23日 17時56分。

中越地震発生から3年が経ちました。

応急仮設住宅入居者が多くいる山古志地域では、

長岡市山古志支所とボランティアセンターの2会場で追悼式を行いました。





地震発生時と同じような月夜の中、88世帯、242人の暮らす仮設住宅で行いました。ボランティアセンター前に献灯、献花台を設け、献灯台には山古志14集落代表の方より、追悼と復興の願いを込めた大きなろうソクに火を灯し、約150名の方より献灯、献花をしていただきました。

そして、地震発生の17時56分、山古志に向かい黙祷。



引き続きボランティアセンター内では、永法寺ご住職より読経を頂戴しました。ボランティアセンタースタッフのひとりが僧侶でもあり、3年間のお付き合いのなかでお勤めさせて頂き、住民の皆様とスタッフ一同がこの日をともしました。いつもと違うスタッフの姿に、

皆さんから「ありがたい」との言葉がかけられていました。

また、住民代表の挨拶、仮設住宅での生活において本当にお世話になった、交番、近隣住民の皆様の代表にもお言葉を頂きました。3年間の我慢、苦勞がにじみ出る挨拶に普段は気丈にしている住民の皆さんも目頭を熱くしているようでした。

仮設での最後の追悼式となる今年、皆さんそれぞれの想いを胸に手を合わせていられました。

10月23日、地震、仮設、山古志・・・忘れる事の出来ない震災ですが、それでも皆様の支えのなかで、徐々に日常を取り戻しつつあります。

追悼式の献灯台に『願生（がんしょう）』という言葉を書かせて頂きました。

「3年間の避難生活の間に、山古志を想いながらも生涯を終えられた方の願い。大好きな山古志にかける願い。

このような願いに叶うように生きることが、“生きる”ということではないでしょうか。

さらに、これから復興に向ける住民の情熱というのも、実は1000年つづく山古志の願いに生かされているのではないのでしょうか。」



先日、山古志地域罹災者公営住宅の鍵の引渡しが行われました。  
待ちに待った住民にとっては、やっと『安住の地』が確保され、今後の生活にも張りがでてくる  
ことでしょう。。。

今回の鍵譲渡は、梶金地域	2件
木箆地域	6件
油夫地域	2件

檜木地域 3件 の13世帯です。

(大久保地域にも建設中の2棟がまもなく完成する予定です。)



住民たちは、前日からソワソワ・・・何度も書類を見直してはカバンに収めていました。まるで幼稚園の遠足のよう。。。



まずは、ご自分で鍵を開け、新築の木のかおりが漂う玄関を上がりキッチン、つづいて和室へと広がっています。



風呂場、トイレには安心な手すりも装備され、さらには非常事態に使用する警報機が設置され、ある程度鳴り続けると外部へ知らせしてくれるシステムになっていました。

火災警報器はもちろん、ガス漏れ警報機さらには、各部屋に3段階式の換気口も設置され、高齢者にとって“安全で安心した住まい作り”になっていました。

キッチン兼リビングは吹き抜けの心地よい空間となっていて、上からの明るい日差しがところを和ませてくれました。。。



私たちスタッフもいっしょに同行し、引越しの案内や電化製品の取り付けの注意点などを伝え、みなさんの負担が少しでも軽くなるように配慮させていただきました。

一足早く、山古志地域内の公営住宅に移った竹沢、桂谷、種芋原の16世帯のみなさんも、今では落ち着きを取り戻した毎日を送られています。

高齢者にとって、慣れ親しんだ地元の景色、澄み切った空気がなによりのやすらぎにつながるのではないのでしょうか。。。

もうすぐ雪の便りも聞こえてきます・・・

我が家でお正月を向かえるあったかいだんらんに向けて、みなさんは引越し準備のラストサポートです！！



被災直後には、3ヶ所に設置され、約600世帯が住んでいた仮設住宅。

仮設住宅の統合を経て、現在では約50世帯となりました。

約3年間という長い仮設住宅での避難生活でしたが、今年中には仮設住宅を返却できる見通しがたちました！

今日現在、仮設住宅に残っている住民の方々に対しても、ボランティアセンターで引越しのお手伝いが必要かどうか確認をとった上で、引越し作業をすすめています。



さまざまな想いを抱きながら暮らした仮設住宅での3年間。

山古志や山古志以外の地へと旅立っていく住民。また、それを見送る住民。

それぞれ、旅立つ嬉しさや寂しさ、見送る寂しさをかみしめながら、引越し作業に追われています。

ボランティアセンターのトラックも、10月末から連日フル稼働！  
多いときには、午前と午後で1日2件の引越しもおこなわれています。  
『一足先にいって待ってるて！』  
『待ってての、もうすぐ帰るんなんが』  
『お茶飲みに寄ってくれの、顔見せにきてくれの』  
と、住民同士の絆が垣間見れる言葉が連日行きかっています。





昨年よりも早い初雪に、山古志では一時的に20cm程の積雪になった集落もありました。根雪（積もる雪）が降り出すのも時間の問題ということで

『雪が積もる前に、引越ししねえば！！』と、さらに、引越しの準備にも熱が入っています。

また、住民の引越しにともない、ボランティアセンターも山古志へと引越しをする予定です。

震災後4度目となるお正月を、あたたかい我が家で迎えていただくため、

引き続きボランティアセンタースタッフも精一杯お手伝いさせていただきます！！

住民の皆さん、もうひと踏ん張りですよ！！

12月31日をもって、閉鎖となる陽光台仮設 . . .  
あと二週間という短い期間になってしまいました。

転居の終わった棟は次々と解体され、残っている住民の気持ちなどお構いなしの作業が毎日行われています。



現在の入居数は約30世帯となり、業者の遅れからくる延長と最終の検査待ちといった、自分たちではどうにも出来ない状態が続いています。

その間、住民のみなさんはせっせと荷造りに専念することができ、まもなく新しい家のカギを受け取ることになるでしょう。



そんななか、ひとつ、またひとつ . . . と集会所の閉鎖が続き、今ではボランティアセンターと同じ屋根の下にある、総合集会所だけとなりました。。

すべての管理人さんも山古志へ、新しい土地へと引越していきました。



今日も引越し確認のため、仮設をまわっていると、いつもならご主人のじいちゃんと行動をともにしている、わんこのベガに会いました。。

ここのお宅も数日後に引越しを控えて、『運べるものは自分で…』と山古志を往復しています！

残念なことに今回ばかりは、ベガは留守番というわけです・・・この不機嫌そうな(-\_-;)



たくさんの患者さんでにぎわった診療所もごらんのとおり・・・ポツンとポストだけがとり残されて、見る影もありません。。

昨日、木籠の公営住宅へ引越した高齢者のお宅も、自分でコツコツと風除室と小屋を取り外し、『お世話になりました…』と、3年間の思い出といっしょに山古志へ向かいました。

住民のお手伝いもさることながら、うちらボラセンの引越しも同時進行で進めていかねば。。

年末年始は休めるのかなぁ・・・考えるとゾッとします(>\_<)

## 12月31日山古志災害ボラセン閉鎖

---

2007年12月31日、その日までブログの更新があったはずなのですがここへの記載がないようです。

手違いがあったか、今となっては不明です。

この日、仮設住宅を1軒1軒訪れ最後の確認をして看板を下ろしました。



また、山古志災害ボランティアセンターの公式な閉鎖は翌年2008年の3月末です。

これが3年間の記録です。

(このページ担当：桑原)

## 仮設住宅団地をサポートされる皆様へ

---

最初に書いた事を繰り返します。

日本のどこか被災地でこれから仮設住宅団地のボランティアセンターで活動される皆さまへ

この記録に何らかのヒントがあるかもしれません。

書いてない事、書けない事もありました。

仮設団地で発生する諸問題、山古志に電話いただければお答えできることもあるかと思えます。

実は、現在長岡市山古志地域で活動している「[地域復興支援センター山古志サテライト](#)」には山古志仮設住宅団地で活躍した人が活動しています。



(地域復興センター山古志サテライトのサイトの写真、残雪峠越えツアーの写真です)

なんと、十年以上にわたって仮設住宅団地支援から山古志に戻って集落復興支援をやってこられているのです。

気さくな方々です。「何でも相談OK、お話だけでもOK」とのこと。

連絡先

(公財)山の暮らし再生機構 地域復興センター山古志サテライト

[http://www.yamanokurashi.jp/limo2/shien/yamakoshi/?page\\_id=4325](http://www.yamanokurashi.jp/limo2/shien/yamakoshi/?page_id=4325)

電話 0258-59-2301 (9:00~17:00)

(このページ 担当 ながおか生活情報交流ねっと 桑原真二)

## 山古志村仮設住宅団地物語

<http://p.booklog.jp/book/16948>

著者：山古志ボランティアセンター（編集こしくわ）

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/16948>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/16948>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ